

一般社団法人千歳青年会議所
創立60周年記念誌

Index

002 **ご挨拶・祝辞**

009 **History of JCI Chitose 1964-2023**

016 **2014-2023 LEADERSHIP INTERVIEW**

歴代理事長×キーパーソンインタビュー

036 **Spirit of innovation～知的好奇心が創る未来へ～**

公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会 第70回北海道地区大会 千歳大会

040 **Most Impressive Activities of Chitose**

出向の歴史、活動の受賞歴、JC Women

042 **創立60周年中期ビジョン**

044 **千歳青年会議所OB会**

会員リスト、活動報告

046 **一般社団法人千歳青年会議所**

正会員リスト、概況

一般社団法人千歳青年会議所
創立60周年記念誌
(5月10日発行)

【発行人】
一般社団法人千歳青年会議所
〒066-0042
北海道千歳市東雲町2番地の6
千歳商工センター 1F
TEL&FAX 050-3588-2436
ホームページ
<https://chitose-jc.com/>

【特別編集長】
大久保 景右

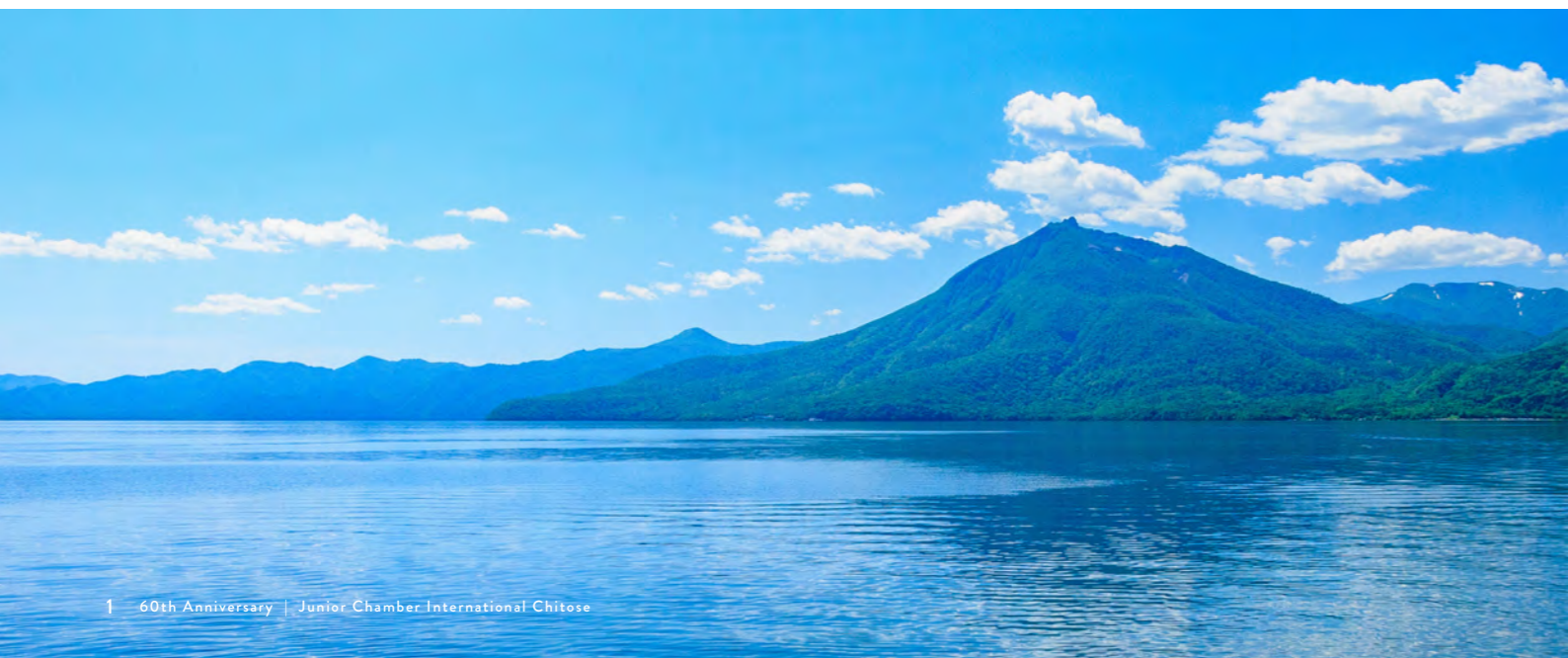
【編集長】
土門 哲也

【副編集長】
井上 慎也
土居 潤哉

【編集員】
今 裕太郎
吉岡 毅
稲葉 フランチェスカ
今井 涼
門脇 拓哉
土居 潤哉
長谷 康礼
足田 之彦
廣川 匠
安保 俊則
中田 来希
西田 雄太

【相談役】
三澤 計史
佐藤 剛

表紙デザイン/金山 佳央梨(pear design)
印刷/千歳印刷株式会社
資料提供/株式会社苫小牧民報社



理事長挨拶



一般社団法人千歳青年会議所
第61代理事長

斉藤 創

今から60年前、苫小牧青年会議所のご尽力の下、千歳青年会議所が発足し今日に至ります。創立前は、各機関や他の地域へ出向き、青年会議所とはどのような組織であるか聞き取り交流を通じて様々な経験を重ねることで組織がつけられました。

そして、創立5年後の1969年に市民の意識調査を行い、千歳川が汚いという市民の声を聞き、1971年に7000人の市民とともに、川まつりと題した大規模な清掃事業を実施し、市民を先導しまちをより良くする運動を展開する青年会議所の在り方を世に示しました。

以来、千歳青年会議所は千歳川の清掃活動に関わり続け、市民と共にまちをよ

り良くする運動を継続しております。加えて、創立50周年を機に2014年より、千歳川に親しみをもち、地域資源を活用してまちに賑わいを創出することを普遍的な価値とした事業「RIVER CITY PROJECT」を10年間にわたって行ってきました。こういった取り組みが評価され、今年度「かわたびほっかいど」様より大賞をいただくことができました。

今後は地域に対してより良い変化を与えるべく、地域の課題と市民のニーズを徹底的に調査し、行政や関係諸団体の皆様も含めて地域一体となった持続可能な運動とまちをより良くする仕組みを創出していきます。また、青年会議所の使命としてまちづくりに加えて、

人づくりがあげられます。私は幼少期にまち全体がおもちゃ屋になればよいと無謀な夢を描いたことがありますが、それが無知な一人の子供の夢で終わったことは言うまでもありませんが、無意味だとも思いません。子供たちが自由にまちの未来を描き語り合う機会から、千歳を愛する、地域の未来のために挑戦する次世代のリーダーを育みます。

60年にわたりご支援を賜りました行政、地域の皆様そして歴史を紡がれた先輩諸兄弟の皆様から感謝を申し上げるとともにこれまで千歳青年会議所に関わった全ての方々からストーリーからバトンを受け継ぎ、今後も地域に必要とされる組織としての圧倒的な存在感を示してまいります。



千歳青年会議所OB会
会長
佐々木 俊英

一般社団法人千歳青年会議所が記念すべき創立60周年の節目を迎えられた事を心から御祝い申し上げます。「伝統とは過去を継承する事によって出来る事では無く革新の積み重ねによって創るものである」という言葉の通り、歴史と伝統のある千歳青年会議所を今日まで地域に根差した様々な多くの事業を創造し、積み重ね継承して頂いている事に斉藤理事長はじめ会員の方々に改めて敬意と感謝を申し上げます。

千歳青年会議所の活動の原点とも言える千歳川をテーマとしたチトセリパーシティブロジェクト他スノーバスターズ、千歳ウエルカム花ロード等の事業を始め、会員拡大50%増達成、21年には通算3回目となる北海道地区大会の開催、翌22年には北海道地区協議会会長4人目就任の快挙等々、近年の千歳青年会議所の活動には目を見張るものがあり私共OBにとりましても大いに誇りに思う所であります。

今後も少子高齢や人口減少等々、国内、国際的に

も様々な問題、課題が複雑に交差し非常に困難な時代が続くと思いますが国づくりの根本はそれぞれの地域の再興にあります。明るい豊かな地域社会(千歳)創造の為、若者の特権である柔軟性、斬新性を発揮し地域に誇れる、地域に必要とされる団体としてあり続けて頂きます様ご期待申し上げます。

一般社団法人千歳青年会議所の限り無い発展と会員諸兄の無限の可能性に期待し又祈念申し上げます。

お祝いの言葉といたします。



北海道知事
鈴木 直道

一般社団法人千歳青年会議所が創立60周年の節目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。貴青年会議所におかれましては、昭和39年の創立以来、子どもたちの地域愛を育む「ちとせみらいLABO」やより良いまちづくりを考える「GO!GO!パトロール」の開催など、地域に根差した青少年育成事業や地域交流活動に熱心に取り組まれ、地域の発展に大きく貢献してこられました。これもひとえに、斉藤理事長をはじめ、歴代の役員や会員の皆様のたゆまぬご努力と熱意の賜物であり、深く敬意を表します。

物価高の影響が長期化するともに、人口減少や少子高齢化の進行により、地域の暮らしや経済を支える担い手の不足が深刻化し、一人ひとりが豊かで安心して暮らしていくことが一層重要となっており、こうした中、地域に寄り添いながら活動を続けられている青年会議所の皆様の存在は、ますます大きくなっています。

会員の皆様におかれましては、創立60周年を契機として、ふるさと千歳のさらなる発展に向け、地域への愛情や誇り、そして情熱を胸に、先輩達から受け継がれてきた崇高な志を大切にしながら、果敢な挑戦を続けていかれることを心よりご期待申し上げます。

道といたしましては、地域を支える多様な人材の確保や社会全体で子育てを支える「子ども応援社会」の実現に向けた取り組みなど、誰もが暮らしやすい生活環境づくりに取り組むとともに、北海道の魅力の世界に発信し、次世代半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の実現や新たな産業や人材、投資を呼び込むなど、地域と世界の視点に立ち、本道の持続的な発展に向けた取組を進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人千歳青年会議所のますますのご発展、並びに、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。



千歳市長
横田 隆一

一般社団法人千歳青年会議所創立60周年にあたり、心からお喜び申し上げます。

また、千歳青年会議所におかれましては、昭和39年に全国で272番目に創立されて以来、「奉仕」「修練」「友情」の三つの信条の下、まちづくりに対する情熱を持って常に地域と協調し、各種イベントの創造や支援など、本市の発展に大きな力を発揮されておりますことに、心から感謝申し上げます。

このたび、創立60周年という記念すべき節目を迎えられましたことは、大変喜ばしいことであり、歴代理事長をはじめ、会員の皆様方の熱意とたゆまぬ御努力の賜物と、深く敬意を表します。

さて、元日に発生した能登半島地震につきましては、今なお、多くの方が避難生活を余儀なくされているところであり、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を願いますとともに、あらためて、災害に対する平時からの「備え」の重要性と、様々な関係機関との連携の重要性を再認識したところです。

また、本市はこれまで空港とともに発展を続け、自衛隊のまち、企業のまちなどの様々な特性を有しておりますが、次世代半導体製造拠点の進出が決定し、半導体関連産業の集積という新たな要素が加わったことで、さらなる発展が期待されております。

この実現のためには、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を担い取り組みを進めることが不可欠であると考えておりますので、会員の皆様方におかれましては、地域をけん引する若きリーダーとして、今後とも本市の発展のためにご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この創立60周年を契機として、千歳青年会議所の長年にわたる伝統と実績の上に、さらなる輝かしい歴史が刻まれますとともに、会員皆様のますますの御健勝、御活躍を心よりお祈り申し上げます。



千歳商工会議所 会頭
入口 博美

一般社団法人千歳青年会議所が、創立60周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、昭和39年の創立以来、「奉仕」「修練」「友情」を活動の基本に「明るく豊かな社会を築き上げることを目指し、人づくりや青少年の育成、地域社会の発展に大きく貢献してこられましたことに、深甚の敬意を表したいと思います。

千歳川清掃やチトセリパーシティブロジェクトによる千歳川の魅力発信をはじめ、おもてなしの心を育てる「ウエルカム花ロード」、除雪ボランティア「スノーバスターズ」など、積極的な奉仕活動は、多様化する社会の中に必要不可欠なものとなっております。

また、「未来を変えるCHITOSE DREAM コンテスト」は、千歳の未来のまちづくりを若者の視点で提言するものであり、今後、多くの市民の心を動かし、千歳の未来をより良いものとするきっかけとなることを大いに期待しております。

さて、今日の日本に目を向けますと、数年にわたったコロナによる経済の鈍化は改善されましたが、人口減少や人手不足、原材料価格の高騰など、中小・小規模事業者を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。

私ども商工会議所は地域総合経済団体として、事業者に寄り添った経営支援を一層強化するとともに、行政との連携によって、地場企業の振興とまちづくりに積極的な役割を果たしてまいり存であります。

千歳青年会議所の皆様には、社会により良い変化をもたらすリーダー的な存在として、千歳の更なる発展に貢献されることを強く期待いたします。

結びに、この60周年を契機として、更なる輝かしい歴史を刻まれますとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



公益社団法人日本青年会議所
第73代会頭

小西 毅

一般社団法人千歳青年会議所の皆様、創立60周年、誠にめでとうございます。60年という長きにわたり、地域に多くの運動を生み出してこれらたことに對して、心より敬意を表します。また日頃より公益社団法人日本青年会議所に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

創立より先輩諸氏の熱き想いを継承し、60周年の記念すべき年に、斉藤創理事長のもと、スローガンに「決断は、今の自分ではなく理想の自分」を掲げ、明るい豊かな社会を実現するため、地域に影響を与える運動を推進されていることと存じます。貴青年会議所のメンバーが積極的に行動し、学び、考え、主体性のある行動をとることとで目の前の人を慮ることのできる、組織と文化を次代へ継承するための節目の年となるよう願ってやみません。斉藤創理事長の掲げる運動が地域の発展に寄与され、誰一人取り残さない、誰もが活躍できる組織として、貴青年会議所のメンバーの成長へと繋がりますことをお祈り申し上げます。

日本青年会議所では、「親切心が織りなす豊かさで笑顔あふれる未来へ」を基本理念に掲げ、一人ひとりの会員の優れ

たリーダーシップを開発することを目的とし、素朴で純粋な親切心をもって、各地の皆様と手を取り合い、明るく豊かな社会を実現させるために様々な運動を展開しております。引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、日本青年会議所を大いに活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらに、現役会員、先輩諸氏の皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。



公益社団法人日本青年会議所
北海道地区北海道ブロック協議会
2024年度会長

鈴木 裕輔

平素より公益社団法人日本青年会議所北海道地区北海道ブロック協議会の運動に深いご理解と多大なるご協力をいただきありがとうございます。誠に厚く御礼申し上げます。一般社団法人千歳青年会議所が創立60周年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。

本年度、貴青年会議所が斉藤創理事長のもと「決断は、今の自分ではなく理想の自分で！」のスローガンを実践し、青年らしく柔軟で斬新な発想と行動力を持って、地域に根差した運動を力強く展開し、課題解決へ向けて前進されていることと存じます。北海道ブロック協議会は道内43LOMと同じ志をもち、皆様と

ともに歩んできてまいりました。今後も今まで以上に深い関係を築き、ともに明るい豊かな社会の実現を目指していきたいと切に願うところでございます。

55周年からの5年間は激動の日々であったことと存じます。新型コロナウイルスの蔓延により、様々な事業が中止されるなかで、最後まで現地開催にこだわり、主催と主管で手を取り合いながらやっとの思いで11月に実現された第70回北海道地区大会千歳大会は記憶に新しく、多くの道民や会員へ勇気を与える事業となりました。また、それだけに留まらず、地域に真に必要な運動をいくつも展開されており、



公益社団法人日本青年会議所
北海道地区協議会
2024年度会長

土橋 広侖

平素より公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会の運動に多大なるご協力をいただいておりますことと厚く御礼申し上げます。一般社団法人千歳青年会議所が創立60周年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。

本年度、貴青年会議所が斉藤創理事長のもと「決断は、今の自分ではなく理想の自分で！」のスローガンを実践し、明るい豊かな社会を創造するため、青年らしく柔軟で斬新な発想と行動力を持って、地域に根差した運動を力強く展開し、課題解決へ向けて前進されていることと存じます。

北海道地区協議会は道内43LOMと同じ志をもち、皆様とともに歩んできてまいりました。今後も今まで以上に寄り添い、ともに明るい豊かな社会の実現を目指していきたいと切に願うところでございます。

千歳市は、「北海道の空の玄関」であり、国立公園支笏湖などの雄大な自然に囲まれ、近年では最先端半導体工場の誘致によって産業等の集積、人口増加、新たな技術開発研究の推進などによる学術・教育の活発化など、経済効果だけではなく、様々な分野における活性化が期待されていることと存じます。そのような取り組みをされている自治体と共に、貴青年会議所の周年テーマとして掲げられた、「千導」の通り、

これから地域の特性に合わせた運動を展開し、多くの市民を巻き込み運動を創り上げていただくことを心より祈念しております。

また、本年は創立60周年を契機に長き歴史を振り返り、地域に対する熱き想いを持ち行動を起こした創始の精神を忘れず、これからも組織をさらに盤石なものとし発展させますことを期待してやみません。

結びに、貴青年会議所の益々のご発展と、これまでご高配をいただきました先輩諸氏、関係各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。お祝いの挨拶とさせていただきます。

一般社団法人千歳青年会議所が創立60周年を迎えられましたこと、一般社団法人苫小牧青年会議所を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。また、創立時にスポンサーLOMとしてご縁をいただき、こうしてご祝辞を述べる事が出来ます事を光栄に感じております。

1964年より本年に至るまでの長きに渡り、明るい豊かな社会の実現を目指し、千歳市発展のためご尽力されてきた千歳青年会議所OB会、歴代理事長をはじめ諸先輩の方々の御功績に深く敬意を表するとともに、60年の歴史と伝統を継承し、青年会議所運動に邁進している同志であります現役会員の皆様に心よ



一般社団法人苫小牧青年会議所
第72代理事長

保坂 俊也

一般社団法人千歳青年会議所が創立60周年を迎えられましたこと、一般社団法人苫小牧青年会議所を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。また、創立時にスポンサーLOMとしてご縁をいただき、こうしてご祝辞を述べる事が出来ます事を光栄に感じております。

1964年より本年に至るまでの長きに渡り、明るい豊かな社会の実現を目指し、千歳市発展のためご尽力されてきた千歳青年会議所OB会、歴代理事長をはじめ諸先輩の方々の御功績に深く敬意を表するとともに、60年の歴史と伝統を継承し、青年会議所運動に邁進している同志であります現役会員の皆様に心よ

りの敬意とお祝いを申し上げます。

本年度も千歳青年会議所におかれましては、斉藤創理事長が掲げられる「決断は、今の自分ではなく理想の自分で！」のスローガンの下、これまで培われてきた先人達の高い志を信じながら、会員皆様が一歩一歩として、心をもち、真に時代に合った組織であり続けるための努力を惜しまず活動されております。今後も青年会議所運動を通じて、メンバー同士が互いにぶつかり磨き合い多くの経験を経て本質を見つけ出し、地域の頼れるリーダーとして行動を起こせるひとつくりを継続されることで、千歳青年会議所の会員皆様の愛する千歳のまちがこれからも発展し続けるものと確信しております。

そしてこの度、創立60周年を一つの節目として、「千導」の周年スローガンを掲げられ、60年という長き歴史を振り返り、地域に対する熱き想いを持ち行動を起こした創始の精神を忘れず、組織をさらに盤石なものとしてさせていただきます。ご期待申し上げます。また、今後におきまして、苫小牧青年会議所と深い友情を育んでいただけると幸いです。結びに、ご健勝とご多幸を祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



一般社団法人千歳青年会議所
60周年実行委員長

吉田 さやか

一般社団法人千歳青年会議所は1964年5月10日、まちの発展を願う45名の若き青年たちが集い、苦小牧青年会議所のご支援、ご協力のもと全国で272番目の青年会議所として誕生しました。この60年間承継されてきた先輩諸兄姉の皆様、そして市民の皆様、行政の皆様、関係諸団体の皆様、各地会員会議所の皆様、各大会員会議所の皆様には心より感謝申し上げます。毎年千歳川では川清掃が実施されていますが、

当会議所が1971年に河川を保全する機会として7000名もの市民を巻き込んで開催した第1回千歳川まつりから始まったという事実を知った時は大きな衝撃を受けました。時代の移り変わりとともにまちが

抱える課題解決に向けて、私たち自身が進むべき道を探求し先頭に立つて行動していく姿から、まちや市民、仲間たちの心を動かす組織であるために、「千導」していかねばなりません。

今後私たちは、生活を脅かす災害での被害を最小限に抑えるための備え、自助、共助、公助ができるまち、豊かで良好な自然を保ちながらも国際都市として多様な価値観を受け入れ共存し合える環境をつくる

ことで、誰もが住みたくなくなるまち千歳を目指します。そして、未来を担う子供たちが豊かな心を育み成長していくために、子供たちを取り巻く環境の変化や多様化する教育環境の課題解決に向けて学校と地域が連携、協働し、心躍る刺激的な体験から適応力を身に付け、夢を描けるまち千歳を目指します。さらに、活気溢れるまちづくりを行っていくために、千歳青年会議所は



名士交歓カクテルパーティー (1968、千歳市民会館)



保健衛生展 (1973、千歳保健所、第3回千歳川まつり)

清流と緑を守る市民の会発会式 (1972)



1964 - 2023



創立10周年記念式典 (1974、千歳市民会館)



第38回北海道会員大会千歳大会 (1980、千歳市民文化センター)



ふれあい農園 (1981、末広高台)

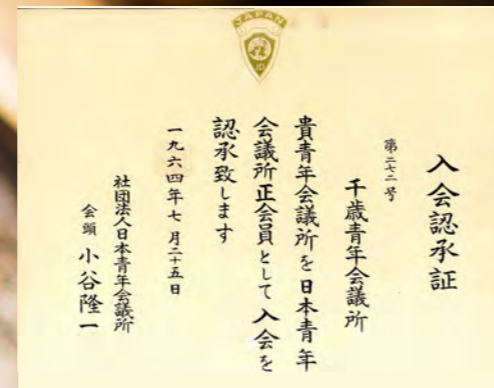


新空港オープニングフェスティバル (1988、新千歳空港)



第20回防火標語コンクール (1985)

日本青年会議所より272番目のLOMとして認証される (1964)



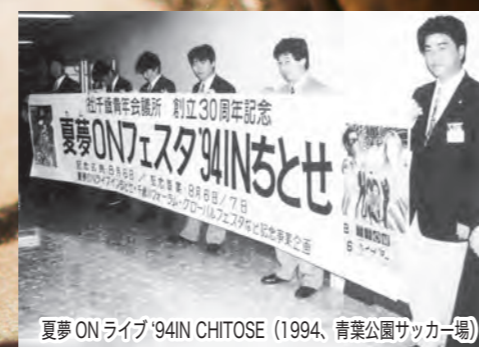
ふる里千歳川噴水フェスティバル (1989、千歳川)



フレンドシップリレー'90 (1990)



第1回ふるさと自然体験隊 (1996)



夏夢ONライブ'94IN CHITOSE (1994、青葉公園サッカー場)



第2回ふるさと自然体験隊 (1997、陸上自衛隊東千歳駐屯地)



第56回北海道地区大会大懇親会 (2007、航空自衛隊千歳基地格納庫)



ぴかっと千歳 (1993、グリーンベルト)

History of JCI Chitose

1969年



第6代理事長
神野 昇

JAYCEE の総意で示せ 日本の姿勢

【主な事業】
千歳 JC ニュース発行、例会「日本を築く若い力」スライド鑑賞、例会「日本の防衛問題について」市民意識調査・勤労青少年調査、新入会員研修会、働く若人の集い開催

1970年



第7代理事長
石井 博美

豊かな心・厳しい自覚・ 貫け社会の正義

【主な事業】
アンカレッジ JC との交流、例会「経営者の能力開発について」、例会「各種保険の研究」、勤労青少年レクリエーション、北方領土返還 PR (横幕作成)

1971年



第8代理事長
高塚 興正

豊かな心・厳しい自覚・ 築こうアジアの連帯感

【主な事業】
川まつり事業、第1回アジア青年の船に清水克彦君を送る、ヤングフェスティバル実施、恵庭青年会議所認証伝達式、第20回全国大会にて社会開発推進最優秀賞受賞

1972年



第9代理事長
小林 馨

考える、行動する 若い力が未来をひらく

【主な事業】
交通遺児を冬季オリンピックに招待、例会「地方自治について」、例会「千歳をめぐる経済環境」、アジア青年の船で青年を受け入れる、日本青年会議所北方領土視察団参加

1973年



第10代理事長
山田 睦雄

若人と創ろう 築こう豊かな未来

【主な事業】
姉妹都市アンカレッジ市友好使節団に参加、北方領土返還 1000 万人署名運動、勤労青少年サマーキャンプ、例会「地方自治のあり方と千歳市の当面の諸問題について」保健衛生展開催

1964年



初代理事長
古 卿 哲雄

新時代築く若さと指導力

【主な事業】
創立総会、認承伝達式、自衛隊陸曹団との懇親会、ブラジル青年との懇親会、防火用水路清掃奉仕、新潟震災街頭募金、歳末たすけあい運動街頭募金、例会「防衛問題について」、例会「工業都市について」

1965年



第2代理事長
荃 津 春松

福祉国家創るさきがけ 果せ JC

【主な事業】
新年家族会、防火用水路清掃奉仕、サクラ並木の植樹 (青葉公園)、自衛隊1日入隊、例会「防犯問題について」、防火標語コンテスト、教育問題座談会

1966年



第3代理事長
伊 藤 弘二

JAYCEE の若さで創ろう 明るい未来

【主な事業】
横断歩道標識3基を市内主要道路に設置、花壇作成 (米町4丁目グリーンベルト)、第3回空港まつり鼓笛隊パレード支援、道南地区野球大会主管、赤い羽根募金

1967年



第4代理事長
高 島 英二

JAYCEE の勇気で築こう 正しい社会

【主な事業】
春の防火パレード参加、交通問題座談会、精進者事業、3LOM 合同家族会 (苫小牧・室蘭)、愛情銀行育成慈善ダンスパーティー開催、献血運動参加協力

1968年



第5代理事長
小 池 文夫

日本の正しい行手 しめせ JAYCEE

【主な事業】
千歳ライオンズクラブとの懇談会、氷上カーニバル支援、青少年健全育成チャリティコンサート開催、名士交歓カクテルパーティー、千歳川汚染調査、青少年会館建設慈善ダンスパーティー開催



千歳川とともに、 運動の原点

1969年、2000名を対象として行った市民意識調査により、まちの開発進展に伴う水質汚濁やゴミの不法投棄などによる汚染など各種問題を起こしていた千歳川の清流保持と美化を進める運動を行う必要があると決断。1971年に河川を保全する機会として開催した「第1回千歳川まつり」には7000名もの市民が集まり川清掃を実施し、自然を守るための継続的市民運動の確立の礎石となり、今なお「清流と緑を守る市民の会」として活動を続けています。

そして、2014年に千歳市の地域資源である千歳川を舞台に、まちの魅力と価値を最大限に引き出し、地域の活性化を目指しスタートした事業が「CHITOSE RIVER CITY PROJECT」です。

地域の魅力を生かし、まちに賑わいを創出することを目標としはじめたこの事業は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった期間がありました。が、10年間で地域とのパートナーシップを強化しながら多くの市民で賑わう空間をつくり上げてきました。



1989年



第26代理事長
坂井 治

**われわれが今こそ
世界へテイクオフ!!**

【主な事業】
米軍ホームビジット、例会「国際感覚を身につけよう」(外国人留学生)、第38回全道会員大会千歳大会：テーマ「世界へテイクオフ」、千歳青年会議所創立25周年記念式典

1990年



第27代理事長
森 成市

**今こそ、理想を現実ろう
我らの時代がやってきた**

【主な事業】
自衛隊高級幹部を囲む会、11連綱引き大会、例会「千歳のまちをグランドデザインする」、北海道ビールまつりイン千歳、アメニティリバー構想提言、緑あふれ国際色豊かな中心街構想

1991年



第28代理事長
三ツ野 仁

**心豊かに創ろう
ちょっと素敵な千歳物語**

【主な事業】
例会「チームワークとリーダーシップ」、会員拡大・JCマニュアル作成、ふるさと記念日をつくる8万人市民の会、ふるさと心国際塾、「今こそ、市民でやらない'91」

1992年



第29代理事長
梅尾 要一

**今こそ青い「心」で ちとせ
「次代」へのシナリオづくり**

【主な事業】
理事長杯ゴルフコンペ、サマーナイトミーティングキャンプ、「ぼくらの大空事業」新千歳空港開発記念事業、JCウォークラリー、ちとせ夢みらいふるさと未来ビジョン会議

1993年



第30代理事長
曙 恒平

**君の思いが風となる!
めざせ“楽しい街”を**

【主な事業】
びかつと千歳開催、会員拡大花見例会、CLIP'93、地球環境村INちとせ、例会「今、エイズ時代を生きる!」、3LOM合同ゴルフコンペ、例会「JC会館設立」

1984年



第21代理事長
佐藤 嘉彦

**受け継ぐ伝統
新たなる創造**

【主な事業】
第1回環道圏会議開催、三世代交流ゲートボール大会、グリーンアップ千歳桜植栽、創立20周年記念式典、サーモンパーク構想推進の為カナダ視察、子供サミットイン北海道参加、第1回市民会議開催

1985年



第22代理事長
土居 栄治

**みんなでつくろう 都市景観
みんなでつくろう さけのふるさと**

【主な事業】
「社団法人千歳青年会議所」誕生、社団法人資格取得記念祝賀会、政策室合同委員会町づくりプロジェクト発足、千歳のまちを語る夕べ、北方領土返還要求全国縦断キャラバン参加、21世紀を与える中学生フォーラム

1986年



第23代理事長
仲村 紀雄

**一面的問題提起から
多面的問題提起へ**

【主な事業】
タコ上げ例会、行政との懇親会、ブラザーJC 理事長サミット、サーモン王国建国イベント、6万人例会開催(支笏湖サイクリングロード)、ちとせ21世紀フォーラム

1987年



第24代理事長
古谷 眞一

**未来への挑戦 燃やせ情熱
奮せ青年の力**

【主な事業】
会員親睦マージャン大会、沖縄宣野湾JCへ雪送り・公式訪問例会、サケの稚魚飼育放流、5LOM合同例会(苫小牧・室蘭・白老・浦河・千歳) エアポートフェスティバル

1988年



第25代理事長
佐々木 俊英

**今 変革のとき自ら拓こう
新時代**

【主な事業】
防衛研修及び視察例会、千歳市長・道議講師例会、新空港オープニングフェスティバル、ふる里千歳川噴水フェスティバル、LD道場

1979年



第16代理事長
山口 幸太郎

**勇気ある挑戦 厳しい自覚
世界に翔け 青年の力**

【主な事業】
「市民の広場」建設計画調査開始、例会「子供の教育について考えよう」、千歳市開基100周年記念式典参加、明日の教育を考える市民会議開催、千歳青年会議所創立15周年記念式典

1980年



第17代理事長
佐々木 昭

**ひろげよう地域の輪 たかめよう
国際意識 問いかけよう日本の安全**

【主な事業】
市民の森記念植樹、例会「メンバーに夢と感動を」、第1回交通安全標語コンクール実施、JC 家族ぶどう狩り、「千歳市と恵庭市の方向を探る」シンポジウム開催

1981年



第18代理事長
伊藤 八郎

**見つめよう国際社会 考えよう
日本の役割 示そう青年の気概**

【主な事業】
第1回ふれあい農園開園祭、第1回グリーンアップ千歳、全道ろうあ者春季大会後援、例会「国防における千歳市としての役割」、例会「北方圏構想と千歳空港国際化」

1982年



第19代理事長
末広 孝

**わたしのまちから 日本へ
世界へ**

【主な事業】
北方領土返還署名運動、千歳市福祉大会参加、朝夕交通安全啓発運動支援、北海道クリーン作戦支援、6・7・9月例会「青少年の問題について」、ロータリークラブとソフトボール試合

1983年



第20代理事長
和田 次彦

**切り拓こう
活力ある地域の時代**

【主な事業】
例会「テクノポリス構想と千歳市の現状」、3LOM合同例会、北方領土返還リレーマラソン(苫小牧より受け恵庭まで)、市民公開講演:「よみがえそう、心のふれあい」、千歳JC教育青少年部門優秀賞受賞

1974年



第11代理事長
大沼 三郎

**模索する英知 挑戦する勇気
若さで担え日本の未来**

【主な事業】
例会「石油問題について」、例会「市政について」、花いっぱい運動支援植樹、創立10周年記念式典、ヤングフェスティバル支援、例会「交通問題を考える」

1975年



第12代理事長
八杉 一博

**人間への期待 明日への行動
創ろう正しい日本の心**

【主な事業】
例会「日本をとりまく国際情勢」、英会話教室開催、アジア青年の船実施、AOY教室実施(支笏湖自然の村)、例会「教育界における話題」、商店街の振興について

1976年



第13代理事長
浅利 陽次郎

**我々は行動する現実を
厳しくみつめそして
理想は高く掲げて**

【主な事業】
例会「千歳市商店街の近代化について」、青少年女子スキー大会協賛、川まつり座談会、JC日ソ青少年交流会議、クリーンアップ千歳川、千歳JC家族ピクニック、市民菜園実施実験

1977年



第14代理事長
高慶 繁博

**築こう日本の礎
はかるう自治意識の高揚**

【主な事業】
市民意識調査設問検討会、道央ブロックスポーツ大会、例会「千歳空港を国際空港への今後の見通しについて」、千歳JC家族レクリエーション、千歳川清掃、例会「泉沢開発構想について」

1978年



第15代理事長
小笠原 良

**厳しい自覚 明日への飛躍
世界に示そう日本の心**

【主な事業】
例会「家庭と学校の接点について」、例会「千歳の街を考える」、千歳市民夏まつり支援、例会「千歳空港の現状と将来」、市内中学生による意見発表会、LD道場開催(支笏湖)

2009年



第46代理事長
高木 昌人

Proud of You!
～感謝と責任と情熱を胸に～

【主な事業】
創立45周年記念祝賀会、元旦神社ホ
ットミルク振る舞い事業、「領土問題醸成」
署名運動、エココミュニケーションin支笏
湖、支笏湖例会、千歳ウェルカム花ロード、
盆踊り例会

2010年



第47代理事長
勝俣 政幸

Living Together
～想い継ぐ夢の担い手として～

【主な事業】
ネイチャリング事業、盆踊り例会、標語
コンクール～2010、神社祭り渡御、卒
業生例会、講師例会 長谷川 勝也氏、講
師例会 小田 與之 氏

2011年



第48代理事長
山口 康弘

True Sympathy
～我が事と考え背中で示せ～

【主な事業】
青少年へ元プロ野球選手佐野慈紀氏諦め
ない心について講演、市民より集まった多
くの支援物資・義損金を被災地へ、千歳
のアイデンティティ創出に向けて千歳市
長より講演

2012年



第49代理事長
福田 拓也

Good Relationship
～真の優しさこそ、
つながりを強くする～

【主な事業】
苫小牧JC合同例会、標語コンクール～
2012、山口市長より講演（10月例会）、
8月盆踊り、ふるさと料理教室

2013年



第50代理事長
佐藤 元康

「挑」
～強くたくましく次代へ
向けて更なる高みへ～

【主な事業】
「共に歩む」まちづくりにむけて、千歳の未来を
見据えて、千歳川清掃事業、「挑」10年後の軌
跡の為に、浴衣の女王選手権、第1回市民討議
会、標語コンクール、千歳ウェルカム花ロード

2004年



第41代理事長
小畑 卓也

新たなる STANDARD
の創出 いざ「志動」!!

【主な事業】
響あおう!スローソサエティ、創立40
周年記念事業「ENJOY THE SLOW
HOKKAIDO～千歳の彩さがし～」、魅力
ある広域連携の創造を目指して、進め!情熱
と行動力で・・・

2005年



第42代理事長
高遠 修一

JUST DO IT!

【主な事業】
あなたならどう思う?どう感じる?そしてど
うする?、このまちはどうなっているのか?
自分に何ができるのか?、JUST DO IT!
一網打尽!、魅力あるちとせにむけて!

2006年



第43代理事長
佐々木 博行

思いやりから生まれる真の力を
信じて変革の立役者となれ

【主な事業】
輝く未来へ発信!、楽しさを経験し楽しさ
を共有する、実践!こころの成長に向けて、
千歳大会成功へのプロローグ、次年度へ
の道標、卒業生からの『贈る言葉』、思
い出を胸に新たな一歩を踏み出そう!

2007年



第44代理事長
佐藤 哲也

千歳一隅

【主な事業】
持続可能な倉庫まう循環型社会の創造に
むけて、今後の地域のあり方と情報化、
OMOIYARIの灯でスローな夜を過ごそ
う、今と止められる新しいライフスタイル、
心からのありがとうと次年度への決意

2008年



第45代理事長
藤本 聖美

前へ!～積極的に行動する高い
志と次代へつなげる使命感～

【主な事業】
チトセを世界に!新たな魅力が詰まったグ
ラスと共に!、つなげよう!空を突き破れ!
会員拡大目標達成の願いと共に・・・、
How to 社会起業家、千歳花の地上絵プ
ロジェクト

1999年



第36代理事長
加藤 賢二

今 新たな未来への実践行動
が地球の鼓動に優しく語り
かけるように動き始める

【主な事業】
第4回ふるさと自然体験隊、ちとせ物語～スピ
リット・オブ・チトセ、心の態度総点検 STEP1
～気づき～、生き残る企業への第一歩 STEP2
～行動～、顧客への感謝が業績を伸ばす

2000年



第37代理事長
高慶 康博

ニューミレニアム
新《千歳》紀の扉を開けよう
自らの手で、自らの力で。

【主な事業】
JCI世界会議札幌大会、ちとせ物語バス
ツアー、当たり前前を当たり前前にでき
る自己を目指して、会員拡大は全員が主
人公!みんなで学ぼう実践トレーニング、
この場所で!ハット!してグット!

2001年



第38代理事長
山口 貴之

新しい JC 運動の始まり
21世紀への「スピリット
オブチトセ」

【主な事業】
魅る子は育つ～大人の背中は見られているんだよ、
ちとせだよ全員集合!～ちとせの夢をカタチに変え
て、IT革命で経済はどう変わる?、君の発想が社
会を救う、Jayceeが社会起業家となるために

2002年



第39代理事長
望月 秀則

Take Action!
輝け 千歳の本気集団

【主な事業】
全国大会に向けもっと深めよう3LOMの
絆、千歳川にちとせ物語を刻む～作品制
作、千歳川にちとせ物語を刻む～お披露
目、"Feel" 体験の共有 in 樽前、行列の
出来る経営相談所

2003年



第40代理事長
杉山 博康

LASTING OUR DREAM
～伝えなければならない想い

【主な事業】
Port and Airport、新 identity に想い
を込めて・・・、千歳から始まる北海道、
あなたも持ってる知的財産、新生活産業
の創出 潜在需要、目指せ!600%委員
会

1994年



第31代理事長
伊藤 常良

せんざい エスプリ
千歳の精神 街づくりの夢
飛べマチの元気集団

【主な事業】
千歳青年会議所創立30周年式典懇親
会、夏夢ONフェスタ'94IN CHITOSE
E、千歳の未来の夢、千歳川フォーラム
大山 のぶ代氏、外に向かって内を固める!

1995年



第32代理事長
吉本 修

自らの勇気で旋風を起こし
真っ只中で叫びたい 今、新
たな JC の振り子が揺り動く!

【主な事業】
ブロック主催地球市民ジュニア育成事業参加、
千歳川河川敷清掃、JC自己改革へのチャレ
ンジJCマンとして企業人として、LD道場、道内
トップ企業の経営者を迎え実践経営学を学ぶ

1996年



第33代理事長
水口 昌仁

あした
確かな明日に 新たな出会いが
とき
目指せ未来という名の Frontier

【主な事業】
あきかんゼロ運動、フレンドリーシップ
'96 IN フィンランド、独居老人宅除雪事
業、新たな息吹を身近に感じるひととき、
愛着のもてるまちづくりをめざして!、考え
ましよう、これからの国際交流事業

1997年



第34代理事長
井上 英幸

育もう 新人間社会 輝け、
街のファシリテーター!

【主な事業】
共に流す汗から生まれる仲間との絆、第
2回ふるさと自然体験隊ーグローバル'97
ー陸上自衛隊東千歳駐屯地、すきとおっ
た瞳に地球の未来を託して、市民と共に
まちづくりに向かって

1998年



第35代理事長
富樫 友昭

心のスタンダードによるふれあいの
輪が 今!新世代への扉を開く

【主な事業】
俺もやるから 君もやれ、北のメッセージ
事業、考えよう!あなたにとっての心のス
タンダードとは、地球型社会に向けたひと
づくり、生き残る企業の経営者の条件

2014

スローガン

「進」～志高く踏み出そう、
未来を切り拓く確かな一歩を～

2014年のできごと

●4月1日：消費税を5%から8%に引き上げ。 ●5月10日：出雲大社で60年に一度行われる「本殿遷座祭」が挙行。 ●6月21日：国宝および重要文化財に指定されている群馬県の富岡製紙工場が「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界文化遺産に登録される。 ●7月1日：憲法解釈を変更し集団的自衛権を認める閣議決定。 ●8月8日：エボラ出血熱の流行に対しWHOが緊急事態を宣言。 ●9月12日：iPS細胞から作られた目の網膜細胞を移植する世界初の手術を実施。 ●10月7日：青色発光ダイオード（LED）を開発した名城大学教授の赤崎勇氏、名古屋大学教授の天野浩氏、カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授の中村修二氏の3名のノーベル物理学賞・受賞が発表された。



主な事業紹介

- 新年交礼会「進」～志高く踏み出そう、未来を切り拓く確かな一歩を～
- 2月例会River City ～10年構想～
- 3月例会千歳市民討議会～進～
- 4月例会River City ～夢のカタチ～
- 創立50周年記念式典・記念祝賀会
- 5月3LOM 合同例会「3LOMフレンドリーフットサル大会」～もう一度あの体型を取り戻したくて2014 春～
- 第2回市民討議会 Voice of ちとせ ～みんなで語ろうまちづくり～

- 7月例会VMV セミナー「未来を切り拓く確かな一歩を！」
- 創立50周年記念事業 CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2014～千歳川で、会いましょう。～
- 8月例会 浴衣の女王選手権2014×千歳美人時計
- 9月例会 Voice of ちとせ 第2回千歳市民討議会 報告会
- 10月例会 地域を牽引するニューリーダーを目指して！
- 11月例会 一致団結～ 2015年度新体制に向けて～
- 12月例会 2014年度 最終例会



2014年度
組織図はこちら

（ロケーション/Cafe Wave 聞き手/島本弓樹文、土居潤哉 写真/土居潤哉 文字起こし/正田之彦、牧桃太郎）

あり、スローガンを「進」にし、現状維持じゃなく、少しでも前に青年会議所の活動運動を進めたいと頭にはありました。

周年で苦労したこと

南雲 私は別として、専務、副理事長をみんなが慕っていたので、2人に言えはいけど、専務方と実働とで、専務方はなるべく専務、実働は副理事長の構図はありました。副理事長は全体の取りまとめでいてくれたので、仲が良かったのが一番です。それで最後まで

で乗り切れた感はありませんね。

次の50年につなぐ

南雲 私が50周年をやった当時、その後の10年間チトセリバーシティプロジェクトという重荷を現役メンバーに背負わせてしまったという思いをずっと持っており、標語コンクールは止めたけど、新たな50年を見据えたものがあつたから、継続事業がダメじゃないけど、自分たちのやりたいことを柔軟にやれる組織でいて

くれればいかなって思います。昔はそうだったけど、1年ごとに事業が変わって、その年にやりたいことを、やったからやりがいもあつたし、大変だったんだらうけど、継続事業は基本があつたらそれに肉付けして、前向きじゃない会員ももしかしらるけど、そういうところはあんまりとらわれず、その時代にあつたものを楽しくやってければ、いいんじゃないかなって思います。好きに暴れてください。

LEADERSHIP INTERVIEW



鳴海 昌成

●なるみ まさなり 株式会社ゆうしんかん
JC 歴：2012年入会、2016年卒業

南雲 勇次

●なくも ゆうじ 山二総合保全株式会社 代表取締役
JC 歴：2011年入会、2016年卒業



南雲 勇次 × 鳴海 昌成

第51代理事長

2014年度専務理事

50周年という節目を迎えて

南雲 勇次(南雲) 創立50周年の周年事業を行ったことで、その記念すべき時の思い出が心に深く刻まれていきます。チトセリバーシティプロジェクトは、この年に始まりましたね。今ではもう10年が経ち、振り返れば、みんなに感謝しかないです。

鳴海 昌成(鳴海) 1番は50周年という節目の式典と祝賀会です。千歳青年会議所自体の人数が一番少ない時期だったんで、辛かったのを覚えています。最初のスタート時点で約20名位しかいましてしたからね。

継続事業を止める覚悟

南雲 標語コンクールという継続事業があつたのですが、50周年の節目に、また違う事業をやるという意味合いも含めて、止めることにしました。関係各所から続けてほしいという声もあつたのですが、三役で検討に検討を重ねることにしました。始めることよりも辞めることの方が勇気がいるという良い経験もさせてもらいました。

1年間を通して達成できたこと

南雲 それは、周年事業ですね。50周

年で、始まったリバーシティが、10年間継続してもらえて、方向が出せたんじゃないかなと思います。以前、私が委員長やった時に、本来やるべき事業をできなかったという経験があつて、三役ともぶつかったりしました。あの時やればよかったと思うけど、当時は当時でいるんな葛藤だったり考え方の違いがみんなあつたと思います。できなかった部分だけを切り取れば達成できなかったことなんですけど、そこに至るまで専務局長とか交えて色々話もしたし、達成できなかったからこそ、そこから得るものはあつたと思います。だから失敗したっていうことではないです。その時の悔しさで50周年は絶対達成しようと思ふんで一つになれました。

鳴海 私50周年事業です。現在も続けてやっているとかがやって良かったっていうところもあります。親子標語コンクールに代わる事業をやるうとしたんですけど、マンパワーが足りなくて、みんな知恵を振り絞って、少ない人数でワンチームになって周年に向かっていたのが懐かしいです。

南雲 前年度のスローガンが「挑」で、市民討議会が第1回でスタートをして、私の年になって50周年記念事業もあり、1歩でもいかに前に進めたいと思ふも

「射石飲羽」～信じる気持ちと力強い行動が人を磨きまちを輝かせる

2015年のできごと

●1月9日：2013年11月に可決されたサイバーセキュリティ基本法が施行され、併せて内閣内閣サイバーセキュリティセンターが設置される。 ●7月1日：キューバ革命により1961年に社会主義宣言をしたキューバと国交断絶状態だった米国が、54年ぶりに国交を回復することで合意した。 ●7月14日：2006年にNASAが打ち上げた人類初となる冥王星の無人探査機・ニューホライズンが、9年の歳月をかけて冥王星に最接近した。 ●9月19日：安全保障関連法案が成立。自衛隊の武器使用承認に解釈できる「集団的自衛権の限定的な行使」などが大きな争点となっていた。 ●9月19日：ラグビーワールドカップ・イングランド大会で日本が初戦で南アフリカに歴史的勝利。 ●10月5日：マイナンバー制度が運用開始 ●12月1日：“爆買い”がこの年の流行語大賞に。



だったから、先輩から言われたことに「イエス」はいい」という返事をずっと続けてきたから、地区の副会長や顧問までやらせていただくことができた。断らないですとやり続けるというんなら出会いとか、自分の成長だったり、そういうのに繋がっていくんです。是非皆さんも、頼まれたことは全てやり切ってほしいなと思います。

中田 違うところは違っていて、間違っていることは間違っているって言うだけ。

(ロケーション/Cafe Wave)

聞き手/島本弓樹文、土居潤哉、中田来希、写真/土居潤哉、文字起こし/安原俊則、中田来希、西田雄介

ど、10年もJCをやっていると、みんなから正解を求められる。でも正解なんてない。だから私の経験したことは全部教えようと思ってる。知ってしまえば最短でそれより上に行けるという役割をしているだけ。

井溪 JCの三信条のうち奉仕が先だとか友情が先だとかという議論があった。でも、その時代に合わせて大事なものは変わっていくと思う。修練ばかりじゃ続かないし、修練が

ないと中身がなくなる。自分の時は修練がすごい強くて、初めて委員長をやった時は、他の委員長が2人とも終わってから辞めてしまった。ただ、今はどちらかかというところを重視していかないといけない。でも、中身をもっと良くしたいってなったら、奉仕や修練といった面を強くしていかなきゃいけないって言うことを念頭において活動してもらえたらなって思います。

主な事業紹介

- 新年交礼会「射石飲羽」～信じる気持ちと力強い行動が人を磨きまちを輝かせる～
- 2月例会 第3回市民討議会に向けて意識を共有しよう!
- 3月例会 千歳川の可能性と未来像を語り合おう
- 4月例会 ふるさと愛の醸成
- 5月3LOM合同例会 絆をつなごう! 3LOM ミニバレー大会～苦しかったって 悲しかったってチームの仲間がいるんだもん～
- 第3回市民討議会 Voice of ちとせ みんなで語ろう! 確かな未来
- 7月例会 仲間を増やそう～青年会議所を通じたまちづくり、ひとづくり

- CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2015 ～千歳川で会いましょう～
- ふるさと事業 千歳ふるさと青年大使は君だ! 2015
- 8月例会 浴衣の女王選手権2015
- 9月例会 2015年度千歳市民討議会報告会「高めよう市民の声!」
- 11月例会 ふるさと事業報告会～青少年と共に育むふるさと愛～
- 11月第2例会 次世代のJAYCEEよ、未来を変えてやれ!
- 10月例会 CHITOSE RIVER CITY PROJECTの更なる成長と飛躍に向けて
- 12月例会 「射石飲羽」～意志を貫き、残した功績を次代へ～



2015年度組織図はこちら



中田 愛

●なかつ あい ラブアクチュアリー店主
JC歴：2013年入会

井溪 利光

●いたに としみつ 有限会社朝日石材工業 代表取締役
JC歴：2008年入会、2017年卒業



テーマ「ふるさと愛の醸成」

主管 ふるさと愛推進委員会



委員長を受けるにあたり

井溪 利光(井溪) 当時、女性で委員長って少なかったよね。女性メンバーはそこそこいたけど、女性で委員長をやるといふのは当時少なくて、是非やってみて良かった。

中田 愛(中田) 最初、ほかの2人の委員長予定者と一緒に呼ばれて握手するという食事が開催されたんだけど断った、でも自分なりに委員長ができる方向性を考えてくれて言われて、1か月待ってもらってその間に仕事の環境を整えたり準備していった結果、受けることにしたんだよね。

井溪 子育てしているお母さんが働きながらJCの活動している姿を見ると、男性としては敵わないって思っていました。

2015年の理事長として1年間の運動を通して

井溪 ふるさと事業という昔からやっていた事業があったんだけど新しいことをすることになって、どうしようという話から、若い人たちに千歳のこと知って発信してもらえたらいいのではとなった。目指したのは、若い人たちにスマートフォンで映像を撮ってもらって、千歳の魅力をCMみたいな感じ

井溪 利光 × 中田 愛

第52代理事長

2015年度市民力推進委員会委員長

じで発信できればいいなと思ってただけで、プレゼンテーションで終わっちゃって、すごい良い内容だったんだけどまだ時代がついてこなかったね。この事業を担当してくれたのが三澤君だったんだけど彼は山梨から来ていて「千歳にふるさと愛はないんですけど、どういう風に千歳のふるさと愛を伝えたいですかね」みたいなやり取りしたのが印象的でした。

中田 でも私も千歳に来て2年目でJC入ってるからね。委員長になるって言われた時に千歳のこと何も知らないって言うって。そこから千歳の歴史を調べました。

未来のJCメンバーに向けてメッセージ

中田 現役と未来の千歳JCメンバーにお話するのなら、先輩たちが守ってきたものは守ってほしいという。楽しむのは大事だと思って思うけど、楽しみだけを求めるとJCじゃなくていいよねっていう。だから、小さい事だけど、なんかそれって尊敬だったりとか、経緯だったりとか、小さい事も伝わることってあるから、そういうことは守ってほしい。

井溪 最初は議案を書くのも大変だったし、文章とか。ただ、断り方が下手

2016

スローガン

先人達の熱き想いに感謝し 祖国日本と ふるさと千歳の新しい未来を築きあげる

2016年のできごと

●3月26日：北海道新幹線が開業し東京から新函館北斗間が約4時間で結ばれた。 ●4月1日：一般家庭での電力自由化がスタート。 ●4月14日：熊本地震発生。14日および16日の両日にマグニチュード6.5、国内観測史上最大となる震度7を観測する地震が発生。3000人以上の死傷者が出たほか、熊本城を含む多数の建物に被害が生じた。 ●6月8日：理化学研究所が合成した新元素をNh（ニホニウム）と命名することを発表。 ●6月15日：メジャーリーグ・マリナーズのイチローが日米通算4257安打目を放ち、ピート・ローズの持つメジャー最多安打記録を抜いた。 ●6月19日：改正公職選挙法が施行され、選挙権が18歳に引き下げられる。 ●10月1日：藤井聡太が14歳で四段に昇進しプロ棋士に。 ●12月31日：国民的アイドルのSMAPが解散。



主な事業紹介

- 新年交歓会 先人達の熱き想いに感謝し祖国日本とふるさと千歳の新しい未来を築きあげる
- 2月例会 JCを学び、誇り高きJAYCEEとなれ!
- 3月例会 和表共済〜心を合わせて広げる千歳の輪〜
- 4月例会 3LOM合同例会 チームの力でトップを目指し友情を育もう!!
- 5月例会 感謝の気持ちと百折不撓の精神を学ぶ
- 6月例会 温故知新〜千歳の歴史を知り新しきを学ぶ
- 第4回市民討議会 Voice of ちとせ みんなで話そう! 次世代を育むための道
- 7月例会 まちの未来を照らす灯りとなれ
- 8月例会 浴衣の女王選手権2016〜今日に輝け、浴衣めんこい子。〜
- 千歳ふるさと青年大使は君だ! 2016
- CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2018〜千歳川で会いましょう〜
- 9月例会 第4回市民討議会結果検証及び今後の実行委員会のあり方について
- 10月例会 受け継ぐ伝統 新たな創造
- 11月例会 原点に立つ〜想い溢れるマチづくりに向けて〜
- 12月例会(卒業式例会)先人達の熱き想いを胸に新しい未来へ



2016年度
組織図はこちら

LEADERSHIP INTERVIEW



太田 憲之

●おたのりゆき 北海道議会議員
JC歴：2015年入会、2020年卒業

中山 千太郎

●なかやま せんたろう 中山建設株式会社 代表取締役
JC歴：2014年入会、2017年卒業



第53代理事長 中山 千太郎 × 太田 憲之 2016年度ふるさと愛推進委員会委員長

目的達成のための秘訣

中山 千太郎(中山) 根性論です。
太田 憲之(太田) 楽しいことがないと人ってやっぱり動かないので、そこは多分すごい気を使いますね。

中山 俺の考え方はJCの理事長ですって言うてもメンバーに対して給料を払っているわけではないから。時には強くお願いすることもあるけど、飯食いにしたりとか悩みの多いことか愚痴聞いたり。自分ができることはやって、委員長には委員長としてやらなといけないことは、やってもらえないような工夫っていうか時間はつくりました。

太田 委員長は委員会を運営しないとイケないから、どう配りするかっていうか。皆さんいろんな立場あるじゃないですか。その立場になったらあの時こうだったんだっていうのが分かるので、やっぱりいろんな役割は経験してほしいです。それに、給料を払ってあげてはないメンバーを動かす、お願いするとか、スリープ気味の人はどう興味を持ってもらえるかなっていうのは、すごい考えますよね。自分が携わった感を出すために、積極的にアイデアとか意見を取り入れたり。発言が成就するっていうのを体験させてあげ

ることで、力になれるんだっていう雰囲気を作っていくかなきゃならないって感じます。

未来のJCメンバーに向けてメッセージ

太田 何事もチャレンジして、頼まれた事をやる。やってみないと見えない世界って絶対ある。その時は無駄だったかなと思っても、違う立場になったらあの時のあれはこうだったんだと繋がってきて、視野が広がっていくと思います。

中山 JCが終わったらみんな燃え尽きて1回何もやりたくなくなる人多いんだよね。JCやってたら、どの団体行っても楽に感じる。もう鍛え上げられてる感があるから。ただ、JCやってもう終わりじゃ意味がなくて、JCで身に付けたこととか人脈とかを使っているんなら団体でいるんことをやっていけたらいいなと思います。何かしら声がかかったら、その時はまずはまた1歩踏み出して。太田 40歳までしかできないからこそ、その強度でやれたんだなって思います。その分見えない経験値積まれています。身についた経験って失われなから、絶対それができる。

中山 経験は一生の財産になるから。

2017

スローガン

今こそ、はばたけ！ ～良心と主体性の育む千歳ブランド～

2017年のできごと

●1月20日：ドナルド・トランプが米国第45代大統領に就任。 ●2月24日：プレミアムフライデー初実施。月末の金曜日は早く仕事を終えて自分の時間に充てることを推奨する、働き方改革と連動した個人消費喚起キャンペーン、プレミアムフライデーが初実施される。 ●4月9日：体操男子の内村航平が全日本選手権で10連覇の快挙。 ●6月12日：上野動物園でパンダの赤ちゃんが誕生。東京の上野動物園で飼育されているジャイアントパンダのシンシンが、5年ぶりに5度目の出産。全国から寄せられた名前から選考し、同年9月25日にシャンシャンと名付けられた。 ●7月21日：横綱の白鵬が通算最多1048勝の快挙。 ●9月9日：陸上男子・桐生祥秀が日本選手初の100m9秒台を達成。 ●10月22日：ボクシングの村田諒太が日本人で22年ぶり2人目となるミドル級世界王者に。



地域の魅力を生かしてまちづくりをするには
原 これまでの活動を振り返ると、継続は力だと思っただけ。続けていくことは「情性」という良くない印象を与える場合もあるけど、100年やっている祭りなんてもう情性そのものだよ。ただそれが「伝統」という違う言葉になるんだよ。僕はやっぱり情性って言葉が何を言われようが、とりあえず50年続けたら良いと思う。そうすれば「これは文化だ」と言われるようになる。シーニックも今は20

年ぐらい経っているけど、とりあえずあと30年、50年ぐらいになると「北海道ではシーニックという文化があります」と言われるように続けていきたい。もしかしたら、花ロードやバーシティプロジェクトもあと何十年かしたら、千歳の文化や祭りの一つになっているかもしれない。いろんな人たちが何らかの形で継承していくことが大事で、こうあるべきとか、継続する価値を考えるとかそういうことはあまり求めずに、楽しいからとか、みんなと一緒に会えるかとか、そういう理由で続けていっても良いんじゃないかな。

三澤 伝統、文化というのは良い言葉ですよ。事業はどんな形を変えていっても良いと思っていて、僕がクラウドファンディングに挑戦したいと思ったというのは、その時代に合わせたことも大事だし、守っていくのも大事っていう、ちょうどいいバランス感覚を持ってまちづくりを進めていくのが良いと思うんだよ。新しいことっていうのは、次世代の人しか導けないわけだから、伝統や習わしを足かせに思わず、その中で何が大切なのかしっかり見極めて、自分たちが良いと思うことをせいっぱいやってほしい。

主な事業紹介

- 新年交礼会 今こそ、はばたけ！～良心と主体性の育む千歳ブランド～
- 2月例会 成長目標をコミット～修練を通じた成長の機会と人育成に向けて～
- 3月例会 確かなまちづくりの第一歩は、聞き出すチカラにあり！
- 4月例会 ～CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2017 に向けて～ 運命共同体の道を歩もう！
- 5月3LOM 合同例会 フライングディスク ガッツ 3LOM 交流大会
- 6月例会 千歳異業種交流会2017～集え！まちの未来を担う青年達～
- 第5回市民討議会 Voice of ちとせ みんなで話そう！次世代を育むための道
- 7月例会 ～「資源家」が育つことが千歳の価値を高める～
- 8月例会 浴衣の女王選手権2017
- Junior Chitose Ambassador 2017 千歳の魅力を伝え観光PR
- CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2017 川辺にワイン～千歳川テラス～
- 9月例会 千歳の魅力発信！目指せ、Ambassador
- 10月例会 声なき声を届けるために～第5回千歳市民討議会 報告例会～
- 11月例会 ビストロJC 2017 チーム対抗料理対決!!
- 12月例会 卒業式例会



2017年度組織図はこちら

LEADERSHIP INTERVIEW



原文宏

●はら ぶみひろ 一般社団法人北海道開発技術センター 地域政策研究所 所長

三澤 計史

●みさわ かずし 北海道中央葡萄酒株式会社 代表取締役
JC 歴：2014年入会、2022年卒業



第54代理事長 三澤 計史 × 原文 文宏

一般社団法人北海道開発技術センター
地域政策研究所 所長

持続可能な市民運動を 行っていくために

原文宏(原) 千歳ウエルカム花ロードで初めてクラウドファンディングに取り組んだ2016年の担当者が三澤さんだったんです。まずは財源を確保しなければという会社経営している人たちの目線という感性があったと思う。我々の中でもクラウドファンディング的なことをやってみたらという声も上がっていたけれど、例えば返礼品をどうするかなど、実際に行動に移せていなかった。そういった点は三澤さんがJICのネットワークを生かして、若者らしい行動力があつたね。

三澤 計史(三澤) やっぱ時代でしたよね。クラウドファンディングというものがあつたという情報はもつていたけど、実際にどう使うのが難しかった。JICの活動にもクラウドファンディングを取り入れたかったけど、なかなか形にならずに足踏みしていたときに花ロードで活用することができた。こういった市民の運動がどうやったら持続的にできるかっていうことが社会の課題だと思っただけ。あとは広報という位置付けもあつた。今までは企業から協賛をいただくことはあつた

シーニックバイウェイ という名称について

原 アメリカで生まれたシーニックバイウェイという言葉は日本語に訳すと風景街道。北海道で始めた運動が全国に広がって日本風景街道になった。シーニックバイウェイを表現する良い日本語は無いかと考えていたけどなかなかピンとくる言葉が無かった。それが日本全国に広がったときに日本風景街道と名付けられたけど、北海道では長年シーニックバイウェイでやってきているので風景街道と名乗ってはいないんです。(全国的には日本風景街道と登録されている)

2018

スローガン

水のまち、空のまち、千歳を彩る灯りとなれ

2018年のできごと

●5月22日:アメフト 日大選手の危険タックル問題。関西学院大学と日本大学のアメフトの試合で、日大の選手が監督に危険タックルという反則行為の指示を受けたとし、関西学院の選手にけがを負わせた。
●6月12日:史上初めてとなる米朝首脳会談。 ●7月23日:埼玉県熊谷市で国内観測史上最高気温となる41.1度を記録。 ●8月24日:競泳女子の池江璃花子がアジア大会で6冠達成の快挙、大会MVPに。 ●9月6日:北海道胆振地方を中心とした地震が発生。北海道胆振地方東部を震源としたマグニチュード6.7、震度7の巨大地震が発生。北海道での震度7は初観測となり、広域にわたり甚大な被害が出る。 ●9月8日:テニス女子の大坂なおみが全米オープン優勝。 ●9月16日:歌手の安室奈美恵が引退。 ●11月19日:日産のカルロス・ゴーン会長逮捕。



ました。カッチリやりすぎるのも私に合わないし、会には勢いも必要だったと思います。しかし、青年会議所とはというところを組織内に遵守させる役割がいて、トータルのバランスを考えて本当にあのメンバーでよかったと思っています。

大宮 徹 厳しい中にも楽しさもあり、しっかりと各委員会は体現してくれたいんじゃないかなと思います。達成できた秘訣というのは、やっぱり

メンバーです。

渡部 良 良くも悪くもたくさん思い出があつて、結果、私は楽しかったし、良かったと思つてます。私は委員長を経験せずに専務からやらせてもらったから、三澤理事長は多分、大変だったと思う。

大宮 徹 そういう意味では、確かに経験豊富ではなかったかもしれないが、そういう人だったからこそその発想で、例会の構築ができたんだと思います。

渡部 良 自分一人じゃ全てをできないということ、統率する大変さ、そしてメンバーや仲間がいるありがたみを青年会議所で学ばせてもらい、その考え方が現在の会社経営にも生きています。また、全てはメンバーのためっていう思いがあつて、自分一人で笑つても面白くないし、一緒に遊べる仲間、話せる仲間がいるから人生も楽しいし、JCもそういう意味では、そこが強かったかなって思います。

(ロケーション/12COFFEE 聞き手/井上慎也 写真/土門哲也 文字起こし/井上慎也、足田之彦)

主な事業紹介

- 新年交礼会 水のまち、空のまち、千歳を彩る灯りとなれ
- 2月例会 千歳JC! 俺たちも青く彩ろう、氷濤まつり40周年! ~青の祭りで2月例会~
- 3月例会 千歳JC塾 C-PRIDE 今ない未来は僕たちが創る!
- 4月例会 千歳の新たな魅力の創出へ踏み出す一歩
- 5月3LOM合同例会 絆を深めよう! 3LOMの輪 春の大運動会
- 6月例会 千歳JC塾 C-PRIDE 今ない未来は僕たちが創る!
- 7月例会 みんなでサバゲーしようぜ!
- 8月例会 浴衣の女王選手権&こどもパレード
- 千歳ふるさとサミット2018 僕たちが描く千歳の未来
- CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2018 「千歳川テラスxイルミネーション」~川辺にワイン~
- 9月例会 火を見つめ自分を見つめる ~仲間と共にかたるべ例会~
- 10月例会 千歳ふるさとまつり2018
- 11月例会 千歳青年異業種交流会2018 ~集え! まちの未来を担う青年達~
- 12月例会 (卒業式例会)「感謝」



2018年度組織図はこちら

LEADERSHIP INTERVIEW



大宮 裕輔

●おおみや ゆうすけ 一般社団法人千歳観光連盟 観光部 次長
JC 歴: 2014年入会、2019年卒業

渡部 順大

●わたなべ よりひろ 株式会社山三ふじや 代表取締役
JC 歴: 2016年入会、2018年卒業



お二人の関係性について

渡部 順大(渡部) 私が理事長の時に大宮君が副理事長でした。組織づくりをする時に絶対に名前が上がるメンバーの1人でしたので、大宮君を副理事長に推薦させていただきました。しっかりとコントロールをしてくれる人っていうのが絶対必要だとずっと言われていたもので、まさに適任でしたね。

2018年度で印象に残っていることは

渡部 良 50周年以降の流れとしては、商工会議所で行うようになつちりした例会が多かつた中、メンバー同士がお互いのことをよく知らない、お互いの事をもっと知りたいよねという声があつていました。僕自身も理事メンバーと顔を合わすけど、他のメンバーと話す機会が多くなつたので、接点を持てる活動や、活動を通じてメンバーと楽しみたいというのが一番だったので、あんまり堅いのはあえてしないようにしていました。

大宮 裕輔(大宮) 確かに商工会議所の会議室を飛び出した活動が多かつたですね。4月には市民スキー場を借りて芝生の斜面を滑走するグラススキーをやりました。新たなまちの魅力の創

出として、夏は行くことがないスキー場を使つてみようという企画でした。まちの中で、新たな遊び場を発見するみたいなテーマがありましたね。他にも「みんなで語る」をテーマにキャンプ場で原始的な方法で火を起こし、焚火を見つめながら語り合いました。「火を見つめ自分を見つめる」というサブテーマで、あれは病んでいる青年達を癒した例会でしたね。

渡部 良 三役が構築した例会だったんですけど、大人32名で本気のサバイバルゲームをしました。例会に向けて装備や服装をそれぞれ買い揃えました。あれは装備力で勝負が決まったと言えますね。最初、迷彩カラーって本当にカモフラージュできるか半信半疑でしたが、実際に着てみると木々の中に紛れて本当に姿が見えないんです。笑

渡部 良 12回の例会をやつて、理事長として年当初に思い描いていたことは全うできたかなと思います。私自身緩かつた部分があつた中で、ルールを守り道を外さないように手綱を握るメンバーがいたおかげでもあります。

三役の中で役割は最初から明確だったのか

渡部 良 組織づくりを考え始めた時には僕の中である程度役割分担は決まつて

渡部 順大 × 大宮 裕輔

第55代理事長

2018年度副理事長

2019

スローガン

失敗したって構わない。仲間と共に挑戦するために志を持って挑戦しよう！

2019年のできごと

●1月1日：米国カリフォルニア州でプラスチック製ストローの使用が制限される ●1月7日：国際観光旅客税の導入がスタート。国籍を問わず、日本を出国する際に1000円が課税される国際観光旅客税が導入される。国税で新たな税目が設けられたのは27年ぶりのこと。 ●1月8日：レスリング女子の吉田沙保里が現役引退を発表。 ●1月27日：人気アイドルグループの嵐が2020年末の活動休止を発表。 ●2月24日：政府主催による天皇陛下御在位三十周年記念式典が開催。 ●3月21日：メジャーリーグ・マリナーズのイチローが現役引退を発表。 ●4月1日：新元号「令和」を菅官房長官が発表。 ●4月10日：国際共同研究グループが巨大ブラックホールの撮影に成功したことを発表。 ●5月1日：午前0時0分に皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位。「令和（れいわ）」に改元。 ●消費税10%に、軽減税率導入。



らえるようなフォーラムにできたかもしれせんしね。

理事長の色

曾我部 人によると思うけど、理事長になったからには自分のやりたいことやろって人もいるかと思うんだけど、私の場合は自分の色を出さないのを目指していた。

吉田 そんな判断ができるのがすごいと思います。自分が理事長の年に他の年にはない成果を残したいとかは思わなかったのですか。

曾我部 55周年記念式典後の懇親会としてチトセリバーシティプロジェクトを重ねて実施しました。同日にやることによって動員もできるメンバーにかかる負担も軽減できると考えました。というのも2年後に地区大会の開催を控えている中で、メンバーの英気を養っておきたいと思ったからです。

周年という節目を迎えて

曾我部 55周年から5年が経ち、千歳JCは良いものをどんどん取り入れて

(ロケーション/千歳商工センター 聞き手、写真/土門哲也 文字起こし/足田之彦)

変わっていていると思います。SNSを工夫しながら発信していることや、女性会員が増えたことか、入会したという人が増えているということ。現役の時はずいぶん多かったけど、卒業して外から見た時に、JCという団体は常に変革をしている唯一無二の団体だと気付きました。これからは先輩諸兄姉から受け継いできた伝統を引き継ぎながら、形式にとらわれずに変革にどんどんチャレンジして千歳に根差した団体として飛躍して欲しいと思っています。

主な事業紹介

- 新年交歓会 失敗したって構わない。仲間と共に挑戦するために志を持って行動しよう!
- 2月例会 まちの交流雪合戦 ~2019ちとせ冬の陣~
- 3月例会 会員拡大討議会 ~いっぱいメンバー増やさNIGHT~
- 4月例会 ~根づけ! 千歳ふるさと愛!!~
- 5月3LOM合同例会 35周年! つなげ3LOMの絆!
- 6月例会 インバウンド×飲食店 ~グローバルなおもてなしを目指して~
- 7月例会 ~第70回北海道地区大会千歳大会獲得への道~
- CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2019 ~僕らの清流音楽祭~
- 8月例会 YUKATA DE BONODORI 2019
- 9月例会 役員会議 in 千歳 ~JAYCEEとしての資質向上に向けて~
- 10月例会 ~青年会議所活動から得た学びとは~
- 千歳リベアクラス2019 ~青葉公園をみんなの手で色鮮やかに!~
- 11月例会 心をひとつに~2020年度の進む道~
- 12月例会 「誰一人取り残されない 皆様へ感謝を込めて」



2019年度組織図はこちら

LEADERSHIP INTERVIEW



吉田 さやか
●よしだ さやか 瀧建設興業株式会社
JC歴：2021年入会

曾我部 喬
●そがべ たかし 株式会社羽芝商店 取締役
JC歴：2014年入会、2022年卒業



第56代理事長
曾我部 喬

60周年実行委員長
吉田 さやか

地区大会の主管立候補という決断

曾我部 喬(曾我部) 個人的なエピソードとしては2016年に北海道地区協議会の地区大会運営委員会の委員として出向したときに函館で地区大会がありました。この年はメインフォーラムに橋下徹さんと呼んで大いに盛り上がっていました。だから、地区大会を主管すれば千歳に有名人を呼べるのではというミッサーン心がありました。一方で組織としては地区協議会に毎年役員を輩出している中で地区とLOMとの距離が近くなっただんどん出向して学びを持ち帰ろうという機運が高まっていた。そんなとき瀧君が地区大会の主管立候補をしたいと言ってきたんです。実は地区の方からもそろそろ千歳の順番じゃないかと囁かれていたので、だったら立候補しようと思って3月に臨時総会を開催しました。

吉田 さやか(吉田) 2021年に入会した私は、2019年に地区大会を誘致したからの経緯を後から知りました。現在活動しているメンバーの中でも、その決断があったからこそJCに入会したという人も多いと思います。賛助会員制度がスタートして、地区大

会に向けて会員拡大が進み、女性会員が増えていきました。地区大会を経験したことで仲間意識が芽生えて、次の年も残ろうという気持ちになりました。もし地区大会がなかったら、続けていなかった可能性はある人は多いかもしれません。

曾我部 選択肢を作れたのはよかったです。あとは自分自身の決断ですね。結果的にメンバー数が増えて、女性メンバーも増えて、組織の雰囲気も良くなってきたと思います。

吉田 地域とのつながりや協力関係という面でも、地区大会以降の千歳JCの存在感は大きくなってきていると思います。それは曾我部先輩が公務員として様々なところに顔を出していたが行ったことによって大きくなっていると思います。

曾我部 案内が来た公務員には必ず行くことを心がけていました。行くメリッとはありますし、繋がりがもできて行っただけでよかったと思います。

吉田 地区大会を誘致したのはコロナ禍の前でしたが、2019年に想像していた地区大会の姿にはありませんでした。

曾我部 大懇親会が中止になりました。千歳のメンバーが準備して頑張ってきたので、本当はもっと盛大にやりたかったです。もっと市民の人にも入っても

忠恕一貫～良心に従い他を思う～

2020年のできごと

●2月28日：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国の小中学校や高校などを3月2日から春休みまで一斉休校とするよう要請した。休校は長いところで3か月に及んだ。 ●3月29日：お茶の間に笑いを届け、「コント王」として幅広く愛されたコメディアン志村けんさんが70歳で死去。 ●4月7日：新型コロナウイルスの感染拡大を受け政府は緊急事態宣言を発令。当初は東京都など7都府県が対象だったが16日に全国に拡大した。夏に行われるはずだった東京五輪・パラリンピックを直撃し1年の延期が決まったほか、春の選抜高校野球大会と夏の全国高校野球選手権大会が中止となるなど多方面に影響を与えた。 ●7月4日：九州を中心に記録的な豪雨が降る。河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、九州5県で77人が死亡し2人が行方不明となった。



輩はいつもにこやかでどっしり構えている姿はリーダーとして安心感がありました。 曙 あまり怒るのは得意じゃないし自由にやって欲しいなって思っています。委員長選も選挙を間違える人ではないと信頼していたから。 土門 僕としては理事長から与えられた委員会の担いを全うすることができなかったのは悔しかったです。当初予定していた事業ができなくて。 曙 十分やってくれてたと思うよ、こ

(ロケーション/オルティダデザイン千歳YOND 聞き手/島本弓樹文、土居潤哉 写真/土居潤哉 文字起こし/安保俊則 定田之彦)

未来のJCメンバーに向けてメッセージ

の時代としては、 土門 もし活動をしていく中で、本日にやれたかったことやできなかったことがあったとしても、それを諦めなければきっとどこかでチャンスをつかめるかもしれないと思います。その時ではなかったらもういいやってなるのは、もったいないって思います。経験はきつとどこかで生きるから。もしつ

まずいてる人がいたら。腐るなって言いたいですね。 曙 JCでの活動はきつと誰かがしっかりみてくれていて、やればよかったけど返ってくる。それに、人は宝だと思うから。いい出会いをしてほしいな。あとはJCで得られた学びを今後、社業や家庭で生かして欲しい。どうやって自己成長につなげていくかは自分次第だから、頑張るって限られた時間を過ごしてください。大変だと思うから、無理せず長く続けてほしいかな。

主な事業紹介

- 新年交礼会 忠恕一貫～良心に従い他を思う～
- 2月例会 JC学園 教えて! JAYCEE先生
- 4月例会 地区大会がやってくるヤア! ヤア! ヤア!
- 6月例会 考えよう、今できること。そして行動しよう!
- 7月例会 地区大会を成功させよう! 本気(まじ)の本気(ほんき)の模擬理事会!
- 8月例会 まちに広がれ、未来へ届ける思い

- 9月拡大例会「Think Globally Act Locally」～ひとりひとりの力を大きな力に～
- 9月例会 JAYCEEberは誰だ!?～ひとりひとりが発信者に～
- 11月例会 みんなに知ってもらいたい! 出向の価値と魅力!
- 12月例会 忠恕一貫～感謝の気持ちを込めて
- YouTubeチャンネル「千歳の魅力発信隊」



2020年度 組織図はこちら



曙 嘉輝

●あけぼの よしき 協業組合カンセイ 代表理事
JC歴：2015年入会、2020年卒業

土門 哲也

●どもん てつや 瀬建設興業株式会社
JC歴：2018年入会



コロナ禍の始まり

土門 哲也(土門) 1月に100%出席で新年交礼会を行うところまでは順調でしたが、その後から新型コロナウイルス感染症という暗雲が立ちこめてきて、前例がないから中止とか延期とかっていうのが多く、3月例会は延期、5月の3LOM合同は中止、4月例会は完全にオンラインで開催したり、どんな手法でもいいから挑戦してみようっていう感じでやりましたね。

曙 嘉輝(曙) やっぱオンラインでどうやって例会していくかだね。専務の吉岡君もネットに詳しい人だったから新しい技術はすぐに取り入れていったよね。

土門 理事会もオンラインでやっていたから、委員長としては上程台に立つという経験があまりできていなかったんです。

曙 上程台に立つということは委員長が主役としてスポットが当たる舞台だから、ちよつと寂しいね。実は理事長挨拶に関していうと対面の挨拶じゃなかったからそんなに緊張もなく気楽にできたんだよね。

土門 僕は4つの例会を担当していたのですが、こうすればできるんじゃないかって形で、完全オンライン開催と

第57代理事長

曙 嘉輝



土門 哲也

2020年度ひとまちが輝く未来総務委員会委員長

かハイブリッド開催とか色々な方法でどうにか実施することができました。これがみんなの学びになったのかは判断が難しいけど、やらないよりはましだなんて思っていました。本当に苦勞しながら計画して、今思えば杜撰な内容でした。こんな背景では理事会は通らないだろう、みたいな議案でしたが、がむしゃらにやっていましたね。

1年間を通して達成できたこと

土門 2020年は賛助会員制度を再整備した年でした。賛助会員の定義を規程で明記して2021年から本格的に運用していくための準備をしていったんですよ。

曙 本当はもっと会員拡大をしようと思ったんだ。だけど、コロナ禍で思うように動けなかったよね。

土門 でもこの制度のおかげで翌以降、会員拡大につながっているのは事実です。すごい意味のあったことだと思います。

それぞれのリーダー像

土門 僕は色々な人に言われ続けているのだけど、委員会メンバーの巻き込みが下手で、メンバーに機会の提供ができていないのですが、その点、曙先

夢と希望に満ちた、僕らのつくる未来へ さあ、熱狂しよう

2021年のできごと

●2月17日：新型コロナウイルスのワクチン接種がスタート。 ●4月11日：男子ゴルフの松山英樹が米マスターズ・トーナメントで初優勝。 ●7月3日：静岡県熱海市、伊豆山地区の達初川上流で大規模な土石流が発生し、川沿いに立ち並ぶ多数の住宅や住民らが流された。26人が死亡、1人が行方不明となり、建物被害は住宅など約130棟に上った。 ●7月23日：第32回夏季五輪東京大会が、コロナ禍を理由とした史上初の1年延期を経て開幕。 ●11月18日：メジャーリーグの今季最優秀選手（MVP）が発表され、投打の「二刀流」で歴史的な活躍を見せたエンゼルスの大谷翔平がア・リーグで初受賞。 ●11月13日：将棋界の最高棋戦、竜王戦七番勝負で藤井聡太三冠が豊島将之竜王を初めて獲得した。19歳3か月での四冠達成は羽生善治九段の記録（22歳9か月）を更新。



主な事業紹介

- 新年交礼会
夢と希望に満ちた、ぼくらの創る未来へ さあ、熱狂しよう
- 2月例会 スケールメリットを活かして、未来へ!!
- 3月合同例会 未来へ向けて協力を! ~共に踏出す第一歩~
- 4月例会 魅力溢れる組織へ
- 6月例会 若者よ共に大志を抱こう
- 7月例会 第70回北海道地区大会千歳大会決起大会並びにOB交流会
- 第70回北海道地区地区大会千歳大会 フォーラム収録

- 5月3LOM合同例会 未来へ切り拓く3LOM
- 10月例会 出向の魅力と自己の成長
- 8月例会 次代の可能性を切り拓こう
- 第70回北海道地区地区大会千歳大会 大会式典、卒業式
- 11月例会 今日の一歩が明日を変える。
笑顔溢れる未来をつくるために。
- 12月例会 「感謝」~未来の懸け橋~

大会式典のステージから
見る景色

福西 大会長挨拶の場面で話す内容が飛んだのを今でも覚えているよ。大会式典が始まると終わりが見えてくるから、変な葛藤が生まれてくるというか、寂しさが出てきた感じがあったんだよね。瀧 ロケーションも違ったじゃないですか。僕らが知っている大会式典ってホールとかアリーナで開催されるイメージだったけど、千歳大会はホテルだったから距離感が近かったし、独特

知的好奇心が創る未来へ

瀧 地区大会だけじゃなくても、自分の知らない世界に飛び込んでみるっていうのはとても重要で、どんな環境でも自分と仲間次第で変えられると思っているから、常に挑戦し続けていってほ

(ロケーション/株式会社工藤組 聞き手/牧桃太郎 写真/土門哲也 文字起こし/足田之彪)

な感じの雰囲気はあったよね。
福西 ステージの上に立ったとき、たどり着いたんだなって感じた。
瀧 同じ気持ちでしたよ。ようやくここまで来ることができたんだという感情が込み上げてきて。

しい。JCをやっているのであれば挑戦することが大原則。挑戦しなかったら成長することはないんじゃないかな。
福西 やりたいこと、やらないといけないこと、まちの課題とかでもないんだけど、まずは語って仲間を集めて、あとは行動するだけ。逃げない、慌てない、必ずできるって、ずっと思っていれば絶対できるから。1人が言えば愚痴、10人が集まれば声、100人が集まれば力となる。ぜひ夢を語り合って、その夢を実現させるために力を尽くしてほしいね。



2021年度
組織図はこちら



福西 秀幸

●ぶくにし ひでゆき 株式会社工藤組 代表取締役
JC歴：2009年入会、2021年卒業

瀧 雄一

●たき ゆういち 瀧建設興業株式会社 代表取締役
JC歴：2012年入会



注目されるまち千歳

福西 秀幸(福西) 今、石狩から北広島や苫小牧にかけて一帯の話題が沸騰している中で、千歳のまち自体が注目されているよね。良いニュースをよく見るし情報が目や耳に入ってくる。そんな盛り上がりの中で千歳で開催した第70回北海道地区大会千歳大会が1ミリでも地域の栄養剤になれていたらすごく嬉しいね。
瀧 雄一(瀧) 千歳のLOMとして考えると、当時入会したばかりだったけれど千歳大会を経験したことで頑張ってくれているメンバーが、今の三役だったり中枢メンバーになっていたりするんだよね。千歳大会を契機にLOMが変わったっていうのは確実にあるかな。
福西 新年交礼会から瀧理事長は拡大をすると宣言していたからね。
瀧 組織が大きくなってきたし、行政や関係諸団体との関わる機会が増えて、千歳JCのプレゼンスが高まってきているきっかけになったのは間違いないよね。

コロナ禍での挑戦と決断の瞬間

福西 誰も経験したことがない未知の世界にいるから、どんな意見も全く参考にならない状況で、僕らが判断しないといけない。だから興味深かったし好奇心が掻き立てられる時代だったと思うんだよね。それまでだったらありえない状況なんだから、ここまで来たらもう楽しむしかないよねって心境だったかな。
瀧 決断するシーンとしては5月に緊急事態宣言が発令されたため、フォーラムだけをWEB配信に変更、大会式典と卒業式は延期するというのを会長と話したタイミングだった。僕らの提案に対して、北海道地区協議会の福西会長をはじめとする正副会長の皆さんが思いを汲んでくれて、決断を受け入れてくれたというのは大きかった。
福西 最初から主管の意志を最優先するっていう思いがあったからね。
瀧 ただ、LOMの中には「延期してまでやるんですか」って言うメンバーは少なからずいた。それでも、新入会員がたくさん入ってくれている中で何としてでも開催するぞという機運を高めていたかな。

第58代理事長

瀧 雄一

公益社団法人日本青年会議所
北海道地区協議会 2021年度会長
福西 秀幸

2022

スローガン

今日の一歩が明日を変える。
笑顔溢れる未来をつくるために。

2022年のできごと

● 2月4日：第24回冬季五輪北京大会で、日本選手団は、冬季大会で最多となる計18個（金3個、銀6個、銅9個）のメダルを獲得した。2018年平昌大会の13個を上回った。 ● 4月23日：知床観光船沈没事故。北海道・知床半島の沖合を航行していた観光船「KAZU」(カズワン)が、「船首が沈んでいる」との通報を最後に消息を絶ち、6日後に水深約120メートルの海底で船体が見つかった。 ● 7月8日：安倍晋三・元首相が奈良市の近鉄大和寺駅前で参院選の街頭演説中、背後から近づいた無職の男に銃撃され死亡した。 ● 10月3日：プロ野球・東京ヤクルトスワローズの村上宗隆が、横浜 DeNA ベイスターズ戦でシーズン56号となる本塁打を打ち、1964年の王貞治（読売巨人軍）の55号を超え、日本選手の最多本塁打を更新した。 ● 10月20日：円安1ドル150円突破。



ていう相談を持ちかけられたとき、俺の中では千歳だからこそ価値があるし、良い事業になるイメージはできていたんだけど、初めての試みだったから理事メンバーに理解を求めることに苦労したんだと思う。今は米田くんがJCとは別の実行委員会を立ち上げて、この事業を継続してくれていることが嬉しいよね。そして、地区大会の翌年として俗に言う燃え尽き症候群にならないで、こういう運動を起こせるのはよかったです。地区大会はゴールではなくあくまでも

通過点っていうのは前年度からずっと言ってきたから。JCはまちや社会をより良くするための運動の起点をつくることできる。大切なのは、単発で終わることなくそれを持続的に進めていくことが社会をより良くする仕組みづくりじゃないかな。

未来のJCメンバーに向けてメッセージ

米田 1回きりの人生です。失敗してもいいから思いっきり突っ走ってもらいたい。やりたいものに挑戦して、つまずいたりした時に支えてくれる大人はJCメンバーだと思おうから。そういう環境を作ってしっかりと挑戦して言って欲しいなと思いますね。

（口ケーション/株式会社イクスギ 聞き手/島本弓樹文

土居潤哉 写真/土門哲也 文字起こし/門脇拓哉

主な事業紹介

- 新年交礼会 今日の一歩が明日を変える。笑顔溢れる未来をつくるために。
- 2月例会 輝く地域の未来のために
- 3月例会 テクノロジーでつながろう、広げよう、明るいまちづくりへ
- 4月例会 官民連携で持続可能なまちづくり～JCと一緒にまちを考えよう～
- 5月例会 Jr.CHITOSE 2022
- 6月例会 だんらんでつくるエコをわかるでつなく省エネを
- 7月例会

- CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2022 ～私たちでつくるやさしい未来～
- 8月例会 JCI CHITOSE フォトコンテスト なんまら千歳2022
- 3LOM合同例会 3Bomb合同例会～継続させよう! 3LOMの輪～
- 9月例会 地域と共にふるさと千歳を学ぼう
- 10月例会 歩みを止めるな! きっとあなたも出来るはず!
- 11月例会 誰もが輝く未来ビジョン～次代のリーダー達へ～
- 12月例会 継承と感謝 ～最高の仲間と共に歩む未来へ～



2022年度組織図はこちら

LEADERSHIP INTERVIEW



米田 大樹

● よねだ ひろき 株式会社 Achievement 代表取締役
JC 歴：2021 年入会

生杉 隆礼

● いけすぎ たかひろ 株式会社イクスギ 代表取締役
JC 歴：2018 年入会



お二人の関係性について

生杉 隆礼(生杉) 2022年、私が理事長時の、地域協育推進委員会の副委員長が米田くんでした。

米田 大樹(米田) 副委員長として、委員長を支えて立てようということは常に意識していましたね。僕にとつての生杉理事長は憧れの存在でした。議案を書く時に自ら一緒に全部教えてくれて嬉しかったです。

生杉 入会したばかりのメンバーが多かったから、育成という意味で役割に関わらず丁寧に教えることも必要かと思つて。全体で盛り上げていけるよう、意識してコミュニケーションを図るようになっていました。

米田 家族を巻き込んだ例会を行う流れが2022年をきっかけに増えまじたよね。

生杉 家族の理解が得られたら、より良い運動が出来るのではないかと思つたんです。チトセリバーシティプロジェクトやJr.Chitoseのような事業もそうですが、どんな例会でも家族や会社が見た時に共感を得られる内容を構築したいと意識していました。

米田 子供たちを例会に連れていくと「楽しい」と言ってくれます。僕が何をしているのが子供にも伝わって家族に理解してもらいやすいので、快くJCに行つてらっしゃいと送り出してもらえます。

社会をより良くする仕組みづくり

生杉 あれってJCがやっていたんだ僕らがやる意義っていうのも後世に伝えていけるのではというのはありました。自分たちの子供たちの代までこの青年会議所の活動が続き、まちがより良い形になっていければいいと思います。

生杉 隆礼 × 米田 大樹

第59代理事長

2022年度地域協育推進委員会副委員長

2023年のできごと

●3月21日：ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）で、栗山英樹監督率いる日本代表「侍ジャパン」が決勝で前回覇者の米国を3-2で破り、2009年以来14年ぶり3度目の優勝を果たした。
 ●5月8日：新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられた。 ●7月25日：中古車販売大手ビッグモーターで、従業員が車体を傷つけて修理範囲を広げるなどして、自動車保険の保険金を不正請求していたことが発覚。創業者が引責辞任を表明した。 ●9月7日：ジャーニー喜多川氏による性加害問題で、ジャーニーズ事務所が記者会見を開き性加害の事実を認めて謝罪した。 ●11月5日：プロ野球・阪神タイガースがオリックス・バファローズとの第7戦に勝利し、38年ぶり2度目の日本一に輝いた。



勝木 昭大



渡部 市の取り組みだけしか実現しないということでは決して無く、若い力が本気でやったら想像以上の力を発揮できた。だからこういったことは行政の動きにとらわれず、どんどん進めていただきたいです。さらに、横田隆一市長や各部の部長さん達が会場にいらっしやっしたのも重要で、議会がコンテストの話題をした際にすぐに話が共有できた。だからぜひ、私たち市議会議員や共感してくれる市の職員を巻き込んでいってください。
富樫 もし市長に審査員をお願いして

（左）ケイシーン／富樫電気工事株式会社 聞き手／島本弓樹文、土居潤哉 写真／土門哲也 文字起こし／足田之彦

主な事業紹介

- 新年交礼会 to impact
- 2月例会 異業種交流会～情報は宝だから！～
- ローカルブランディングセミナー
- 3月例会 千歳の歴史とミライ、のぞいてミナイ？
- 4月例会「海外の人と文化にふれる異文化交流！」～人と自然との出会いが待っている～
- 5月例会 LOM-1グランプリ 「Union is strength ～団結は力～」
- 6月例会 未来を変える CHITISE DREAMコンテスト

- 7月例会 3LOM合同例会 一人ひとりが輝ける組織へ
- RIVER CITY PROJECT ～CHITOSE みらい EXPO～
- 8月例会 JC運動が牽引する千歳の未来!!
- 9月例会 伝統、継承！あの青春をもう一度
- 10月例会 ちとせみらいLABO
- 10月第2例会 Let's meet at the committee
- 11月例会 Go!Go! パトロール
- 12月例会 ～想いを紡ぎ未来へ～



2023年度組織図はこちら



富樫 昭大
 ●とがし あきひろ 富樫電気工事株式会社 代表取締役
 JC歴：2016年入会

渡部 謙太郎
 ●わたなべ けんたろう 千歳市議会議員



第60代理事長
富樫 昭大 × **渡部 謙太郎**
 千歳市議会議員

圧巻の理事長挨拶に込められた思い

富樫 昭大（富樫） 実は予定者の時に、理事長所信を書くにあたって謙太郎君には相談をしようと思った。歴代トップ票の当選の市議会議員であり子育て世代でもありPTAもやっている。たくさん情報持っていると思ったので、ちよつと話を聞かせてくださいって。
渡部 謙太郎（渡部） 理事長所信は新年交礼会での理事長挨拶と内容は一緒だったのかな。
富樫 そうです。所信に書いた自分の考えをもとに構成していきました。
渡部 あの挨拶は圧倒的なインパクトだったよ。新年交礼会の後もう1回聞きたくなってYouTubeで見ただけ、原稿を見ずにあれだけ喋るってすごい。議員という仕事柄演説はするし、選挙の時にも色々話す機会があるけれど、だからこそ20分近く人前で自分の考えを伝えることの難しさがよくわかるんだよね。
富樫 長い時間をかけて原稿を書いているからもう自分のものになっているし、包み隠さず全部出すのが自分らしさだと思ってるので、これまで自分が経験してきたことや会社のこと、家族のことも全部自分だけのエピソードとして話したんです。

まちをより良くするためのアプローチ

富樫 JCがまちを変化させていく方法を日々探っている中で、1年で組織がガラッと変わってしまうから難しさとかに直面しているけど、行政との関わりというのは切り離すことはできないと思ってる。でも今のまちづくりに関わっている利害関係者が多すぎて話が進みにくいかもしれない。だからこそ、JCにできることってもっとあるんじゃないかな。
渡部 千歳市には、5期20年に渡って市のトップリーダーを務めてこられた、山口幸太郎前市長の「市民協働によるまちづくり」という理念が根付いていて、自分たちの地域は自分たちの手でつくるという考えで、市民や団体といった違う立場の人達が一緒にあってまちづくりを進める仕組みがあるよね。そういう点では、JCが開催した「未来を変える！CHITOSE DREAM AMコンテスト」は結果的に行政を動かして実現したという市民によるまちづくりの良い事例だと思う。
富樫 子供たちにとって10年先、20年先、30年先にフラッシュバックして欲しいような体験の機会をつくりたいと思っていたんですよ。



1989年第38回全道
 会員大会、2007年第
 56回北海道地区大会に次
 いで14年ぶり3回目の
 開催となった第70回北
 海道地区大会千歳大会。
 人々の生活スタイルや価
 値観、社会情勢が大きく変
 化している今だからこそ、
 我々青年経済人が時代の先
 駆けとして新たな挑戦に踏
 み出す大会にしたいと考
 え計画してまいりました。
 しかし、前年から続くパン
 デミックにより、2021
 年5月に緊急事態宣言発
 令で全ての計画が振り出
 しに。それでも諦めること
 なく現地開催を目指し幾
 度とない変更や修正を重
 ねた結果、そこには想像を
 超える景色がありました。
 改めて、全道各地会
 員や行政をはじめ多く
 の関係諸団体、OB会
 の皆様にご理解ご協力
 をいただきましたこと
 に感謝を申し上げます。
 これからも千歳青年会議
 所は、様々な社会課題解決
 に向け挑戦を続け、地域を
 牽引するリーダーシップを
 発揮し、必ずや多くのイノ
 ベーションを起こしてい
 りますので、引き続きのお力
 添えをお願い申し上げます。

主管実行委員長 生杉 隆礼

Spirit of innovation ~ 知的好奇心 が創る未来へ ~

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 第七〇回北海道地区大会千歳大会

俺は己の運命を呪わ
 ずにはいられなかった。
 北海道地区大会千歳大会
 は一体何者だったのか？
 2019年3月27日、
 臨時総会における地区大
 会誘致の決議から世の中
 は大きく変わっていた。
 人々が接することを禁止
 される、そんな社会を誰
 が想像できただろう。
 2021年になっても
 改善の兆しは見えず、延
 期、中止。様々な価値観
 が目まぐるしいスピード
 で変化した1年であった。
 現地開催にこだわった
 が故に、多くの苦難と決
 断の連続だった。

どうしても、来場する
 皆様と顔を合わせて感謝
 の思いを伝えなかった。
 どうしても、千歳のま
 ちを目で見ても、肌で感じ
 ていたできなかった。
 どうしても、大会誘致
 から962日もの間、汗
 を流して、時には涙を流
 しながら、一生懸命大会
 の構築に励んでくれた
 千歳青年会議所メンバー
 1人ひとりの顔を見てい
 たできたかった。

世界中を震撼させたパ
 ンデミックの中で現地開
 催した地区大会であった
 からこそ、唯一無二の価値
 があったのかもしれない。

主管理事長 瀧 雄一



<p>10月15日 <small>オンライン配信(2021年9月11日収録)</small></p> <p>オープニング</p> <p>フォーラム セキュリティ 2.0 ~サイバーセキュリティしか勝たん!~</p> <p>REAP Hokkaido ビッチコンテストファイナル ~質的価値革命前夜~</p> <p>イノベーションフォーラム 知的的好奇心が創る未来へ</p> <p>クロージング</p>	<p>11月13日</p> <p>祈願祭 <small>ホテルグランテラス千歳 風風の間</small></p> <p>結団式 <small>ホテルグランテラス千歳 風風の間</small></p> <p>Local Fair CHITOSE <small>ANAクラウンプラザホテル千歳 ゆうふつの間</small></p> <p>テクノロジーエキスポ <small>ANAクラウンプラザホテル千歳 ゆうふつの間</small></p> <p>大会式典 <small>ANAクラウンプラザホテル千歳 千歳の間</small></p>	<p>11月14日</p> <p>Exhibition Awards in Hokkaido <small>ANAクラウンプラザホテル千歳 千歳の間</small></p> <p>卒業式 <small>ホテルグランテラス千歳 風風の間</small></p> <p>送辞(卒業式) <small>公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 2021年度 顧問 梶原 一生 君(帯広JC)</small></p> <p>答辞(卒業式) <small>公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 2021年度 顧問 渡辺 秀敏 君(苫小牧JC)</small></p> <p>解団式 <small>ホテルグランテラス千歳 風風の間</small></p>
--	--	--



総務広報部会は地区大会を開催することを地域の皆様に知っていただくとともに、メンバーも含めて多くの方々に参加していただけるように魅力を発信する広報と、準備期間から閉会まで会期中の円滑な運営を行う総務という2つの役割を担っていました。

千歳市の観光スポットをホームページ上で巡ることができたり、コンテンツを掲載したり、当時話題になっていた音声SNSで、新しい技術や積極的に活用しました。さらに、千歳市が道内一の生産量を誇る鶏卵の殻を使用したモザイクアート企画を実施。市内の幼稚園児と小学生が描いた62点の作品を期間限定で新千歳空港のセンタープラザで展示することができました。



開催延期で度重なる変更の案内など、苦しい期間もありましたが、数多くの来場者で埋め尽くされた大会式典の会場を見たときに得た達成感は貴重な経験となりました。

総務広報部会長
土門 哲也



事業部会はオープニング、フォーラム、ブース出展、クロージングを担当。コロナ禍により事前収録した映像をYouTubeで配信いたしました。

第一部「コロナ禍で変わる世界 デジタル時代の可能性の広がりについて」ではパネリストに前田裕二氏、安田クリスチーナ氏、生杉隆礼実行委員長がコーディネーターをつとめ、「経済イノベーション」に焦点をあて、企業の経済活動にあて、企業の経済活動に

テクノロジーを活用することで得られるデジタル時代の可能性の広がりについて発信。
第二部「誰もが輝ける北海道の未来に向けて」ではパネリストに朝比奈一郎氏、前田裕二氏、生杉隆礼実行委員長がコーディネーターをつとめ、「地域イノベーション」に焦点をあて、テクノロジーを活用した地域イノベーションの成功事例等を掲げ、誰もが輝ける北海道の未来のビジョンを描きました。

事業部会長
吉岡 毅



式典懇親部会では大会式典、卒業式、Exhibition Awardを担当。大会式典では日ごろからJCI活動に多大なるご理解とご協力を頂いております各種関係諸団体の皆様や先輩諸兄弟、北海道知事、各級議員、多くの現役JCI会員にご参加頂く中で公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会が1年間行ってきた運動の集大成をご披露

させて頂きました。また、次年度体制の披露と伝統であります鍵の伝達式も行いました。卒業式ではコロナ禍ではありましたが多くの現役会員が集まり卒業生へ直接花束を渡しするなど短い時間ではありましたが心から卒業生を送り出すことができました。

また、式の最後にはサプライズとしてシークレットゲストによるライブパフォーマンスを披露して頂き大いに盛り上がりました。Exhibition Awardでは各地青年会議所が行った運動のパネル展示を行いその中から大賞を選び表彰をしました。その他に会員を飛躍的に伸ばした会議所も表彰しました。その前段として地元で活躍するパフォーマンス団体にご出演いただき会場を大いに盛り上げて頂きました。

式典懇親部会長
伊藤 一成



出向の歴史

History of secondment

2014年〜現在

60年という時の流れと共に脈々と受け継がれてきた出向の歴史。近年は北海道地区協議会に毎年2名以上の出向者を輩出し続けており、これまで数多くの先輩諸兄姉が活躍してこられています。特に2022年には日本青年会議所の理事会構成メンバーとして2名を輩出するなど、活躍の舞台は全道、全国にとどまらず世界へ広がっています。



【地区】会務担当副会長(2014)
佐藤 元康
【地区】顧問 (2015)
【地区】国民権確立委員会 委員長 (2012)



【地区】道央エリア運営会議 運営議長(2015)
南雲 勇次



【地区】道央エリア担当副会長(2016)
井溪 利光
【地区】顧問 (2017)



【地区】地区大会運営室 室長(2017)
中山 千太郎



【地区】広報渉外委員会 委員長(2018)
曙 嘉輝



【地区】道央エリア運営会議 運営議長(2019)
吉岡 毅



【地区】会長、【日本JC】北海道地区担当常任理事(2022)
三澤 計史
【地区】会務担当副会長 (2021)
【地区】道央エリア担当副会長 (2020)
【地区】北海道創生室 室長 (2018)



【日本JC】日ロパートナーシップ委員会 委員長 (2022)
瀧 雄一
【地区】顧問 (2024)
【JC】 JCI Foundation Committee Member for Asia and the Pacific (2023)
【地区】日ロ平和醸成室 室長 (2019)
【地区】教育再生推進委員会 委員長 (2017)



【地区】会務担当副会長(2023)
生杉 隆礼
【地区】監査担当役員 (2024)
【地区】地区大会運営委員会 委員長 (2020)



【地区】LOM連携会議 議長(2023)
大久保 景右



【地区】事務局 事務局長(2024)
富樫 昭大
【地区】総務運営委員会 委員長 (2021)



【地区】道央エリア運営会議 運営議長(2024)
高橋 孔明

活動の受賞歴

Awards and Nominates

2016	ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト (シーニックバイウェイ北海道推進協議会)	美しい景観づくり賞(旅の始まりは花ロードから 千歳ウエルカム花ロードver.14)
2018	川ろうぜ! 街がえようぜ大賞(ミズベリング)	ノミネート (CHITOSE RIVER CITY PROJECT)
2023	AWARDS JAPAN 2022(公益社団法人日本青年会議所)	純増部門 優秀拡大LOM賞 50名以下の部 ノミネート
	第2回かわたびほっかいどう大賞 (かわたびほっかいどう)	優秀賞 (CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2022)
	令和5年度「道路功労者表彰」(国土交通省)	北海道開発局長表彰(千歳ウエルカム花ロード実行委員会)
	道央エリア事業AWARD2023 (公益社団法人日本青年会議所北海道地区 北海道ブロック協議会 道央エリア運営会議)	会員拡大多様性部門 優秀賞 組織間協働プロジェクト部門 最優秀賞 (RIVER CITY PROJECT -CHITOSEみらいEXPO-) LOM地域社会向上プログラム部門 最優秀賞(6月例会)
2024	ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト (シーニックバイウェイ北海道推進協議会)	美しい景観づくり賞(地域協働による20年の道づくり 千歳ウエルカム花ロード ver.20)
2024	第3回かわたびほっかいどう大賞 (かわたびほっかいどう)	大賞 (RIVER CITY PROJECT -CHITOSE みらい EXPO-)



千歳JCが独自に行う運動の他、パートナーと手を取り合いながら推進する事業が、周囲の皆様から認められ数々の賞をいただきました。これらの評価を励みに、これからも明るい豊かな社会の実現に努めてまいります。

女性が活躍する時代へ

Chitose JC Women



千歳JCでは2020年に賛助会員制度が改められ、翌年から本格的に運用されたことにより、2021年の始めには3名だった女性会員が10名になり、2023年には17名となり25%が女性会員となりました。女性会員が増加したことをきっかけに、2023年にChitose JC Womenを第1期として立ち上げ、JCの活動をするうえで苦労や悩みを相談したり懇親を図る機会をつくり、入会したばかりのメンバーが会になじみやすく不安や不満の解消につなげ、そこから共感者が生まれることによりさらに新しいメンバーが増えていきました。今後はメンバーの子供たちを含めた活動を増やし、千歳のまちがより豊かななるよう運動に活かしていきます。



一般社団法人千歳青年会議所 中期ビジョン策定

2024 - 2028

千歳青年会議所は、絶えず変化する現代社会において、60周年の節目に今一度方向性を見つめ直す転換期に直面しているなかで、5年後に向けて方向性や戦略を明確化し、実現するために具体的な道筋を設定しました。青年会議所は単年度制ではありますが年度毎に大幅に変化を求めるのではなく、連続性を重視した運動を展開することで産官学民や他団体からの共感を呼び起こし、信頼を築いてきました。創立60周年を迎える今年度、時代や社会情勢に即した中長期ビジョンを策定し、「明るく豊かな社会」を追求して一般社団法人千歳青年会議所が地域から不可欠な存在となり、より強固な組織として成長するための指針として、中期ビジョンを策定しました。

JCI CHITOSE

COMMITMENT

「Community」

でひろがる輪

「Challenge」

でつかむ未来

「Change」

から創り出す

新たな価値

を創造する。

私たちが描く千歳の未来

千歳青年会議所では、新たに策定した中期ビジョン「JCI CHITOSE COMMITMENT」を目指すべきゴールとし、「まちづくり」「ひとづくり」「組織づくり」の重要性を再認識し、行動を起こすことで千歳市を先導し持続可能なまちにします。

行政や各団体、市民との協働で
多様な価値観を尊重しあえる
住みよいまちにする。



自分の未来を切り開いていく
挑戦心と豊かな心をもった
人財で溢れるまちにする。



3つの柱

まちづくり
×
環境

- ① 自然環境
- ② 生活環境
- ③ 国際環境

ひとづくり
×
教育

- ① キャリア教育
- ② 社会教育
- ③ 郷土愛の教育

組織づくり
×
構築

- ① 成長できる組織構築
- ② 情報発信力の構築
- ③ 継続できる組織構築
- ④ 組織基盤の構築
- ⑤ 教育体制の構築

中期ビジョンを運動に

CHITOSE GOALS

- 1. まちづくり × 環境
- 2. ひとづくり × 教育
- 3. 組織づくり × 構築



活用するための共通目標



武石 忠俊 (1974)	原 明 (1989)	九谷田定彦 (1994)	高島 克文 (2000)
浅利陽次郎 (1977)	荃津 雅春 (1990)	佐藤 義成 (1994)	水田 容子 (2000)
小笠原 良 (1978)	高木 猛雄 (1990)	中田 敬一 (1994)	齊藤美穂子 (2001)
木滑 康雄 (1978)	登立 和紀 (1990)	師岡 郁彦 (1994)	佐々木智博 (2001)
五十嵐 宏 (1979)	遠藤 二夫 (1991)	山本 幸博 (1994)	神野 幹士 (2002)
小原 徹夫 (1981)	坂井 治 (1991)	平井 敏雄 (1995)	茅野 泉十 (2002)
中山 和朗 (1981)	田口 廣 (1991)	富士原勝三 (1995)	高倉 博人 (2002)
末広 孝 (1982)	沼田 常好 (1991)	吉本 修 (1995)	橋本 潔 (2002)
山口幸太郎 (1982)	北國谷 勉 (1991)	上枝 敏八 (1996)	水田 信也 (2002)
橋爪 宏征 (1983)	三ツ野 仁 (1991)	梅尾 要一 (1996)	齊藤 元彦 (2003)
北村 建興 (1985)	村田 研一 (1991)	熊原 信江 (1996)	佐々木義朗 (2003)
佐藤 嘉彦 (1985)	生杉 芳弘 (1992)	水口 昌仁 (1996)	望月 秀則 (2003)
土居 栄治 (1985)	金丸 定雄 (1992)	富永 聡 (1996)	米内山淳二 (2003)
和田 次彦 (1985)	田浦 正裕 (1992)	井上 英幸 (1997)	安和 良一 (2004)
今井 章夫 (1987)	藤田 勝久 (1992)	小川 洋司 (1997)	大川 聖一 (2004)
岡本 敏春 (1987)	古川 昌俊 (1992)	尾本 眞二 (1997)	杉山 博康 (2004)
神出 晴夫 (1987)	松浦 聖一 (1992)	木下 由三 (1997)	高慶 康博 (2004)
羽芝 涼一 (1987)	水戸 喜則 (1992)	武田 伸也 (1997)	手島 和枝 (2004)
藤崎 正敏 (1987)	今村 静男 (1993)	玉山 敬吏 (1997)	藤島 和寿 (2004)
藤田 洸 (1987)	坂本 竜司 (1993)	真鍋 淳 (1997)	山口 貴之 (2004)
松坂 敏之 (1987)	森 成市 (1993)	赤崎 政和 (1999)	山根 俊哉 (2004)
斎藤 昇 (1989)	小柳 重隆 (1994)	井坂 好伸 (1999)	五十嵐克敏 (2006)
佐々木俊英 (1989)	荃津 俊爾 (1994)	熊谷 徹 (2000)	小畑 卓也 (2006)

笹谷 俊尚 (2006)	高木 昌人 (2011)	羽生健太郎 (2016)	佐藤 剛 (2021)
中村 智樹 (2006)	高遠 修一 (2011)	井溪 利光 (2017)	茂野 隆志 (2021)
菊地 稔 (2008)	野村 諭史 (2011)	中山千太郎 (2017)	藤本 誠司 (2021)
関根 悟 (2008)	林 直司 (2011)	藤野 マキ (2017)	増子 洋行 (2021)
浜中 幸平 (2008)	藤本 聖美 (2011)	藤本 裕之 (2017)	村井 英俊 (2021)
比原 隆志 (2008)	前田 浩志 (2011)	木村 利貴 (2018)	山下 憲一 (2021)
山田 透 (2008)	勝俣 政幸 (2012)	佐藤 一馬 (2018)	伊藤 一成 (2022)
一戸 裕之 (2009)	中島 肇 (2012)	登立 太郎 (2018)	曾我部 喬 (2022)
大井 潤慈 (2010)	山口 康弘 (2012)	渡部 順大 (2018)	三澤 計史 (2022)
戸田 貢介 (2010)	國廣 英樹 (2013)	大宮 裕輔 (2019)	安部 優雅 (2023)
春木 秀紀 (2010)	福田 拓也 (2014)	加藤 寛志 (2019)	伊藤 香織 (2023)
松倉 美加 (2010)	勝俣 雅代 (2015)	沼田 哲平 (2019)	沖元 丈二 (2023)
本村 信人 (2010)	佐藤 元康 (2015)	平砂 千尋 (2019)	岸田玲美奈 (2023)
生杉 泰志 (2011)	高田周一郎 (2015)	曙 嘉輝 (2020)	齊藤 毅 (2023)
大山 益巳 (2011)	稻船美貴子 (2016)	太田 憲之 (2020)	坂口 直希 (2023)
榊原 達也 (2011)	中田 圭介 (2016)	高橋 卓也 (2020)	水田 尚子 (2023)
佐藤 哲也 (2011)	南雲 勇次 (2016)	山川 力 (2020)	沼田 大喜 (2023)

(括弧内は卒業年)

物故会員

(2019年から2023年までに逝去された会員)

2020年8月14日御逝去

山田 睦雄 先輩

(1975年御卒業)

2022年10月8日御逝去

小池 広昭 先輩

(1998年御卒業)

2022年1月15日御逝去

牟田 裕一 先輩

(2006年御卒業)

2023年3月19日御逝去

佐藤 秀雄 先輩

(1979年御卒業)

2023年2月9日御逝去

勝俣 克廣 先輩

(1988年御卒業)

千歳青年会議所 OB 会 歴代役員

会長	古柳 哲雄	1976年1月10日 ~ 1978年3月28日
	伊藤 弘二	1978年3月28日 ~ 1981年2月3日
	高塚 興正	1981年2月3日 ~ 1990年2月24日
	高慶 繁博	1990年2月24日 ~ 2000年2月19日
	佐藤 秀雄	2000年2月19日 ~ 2012年2月18日
	佐々木 昭	2012年2月18日 ~ 2014年12月8日
	佐々木 俊英	2016年3月5日 ~

監査	大沼 三郎	1981年2月3日 ~ 2014年3月1日
	高橋 攻	1990年2月24日 ~ 2014年3月1日
	宮崎 義弘	2008年5月17日 ~ 2014年3月1日
	井上 英幸	2014年3月1日 ~ 2016年3月5日
	小川 洋司	2014年3月1日 ~
	荃津 雅春	2016年3月5日 ~

副会長	沼山 佐太郎	1990年2月24日 ~ 2000年2月19日
	佐々木 昭	2000年2月19日 ~ 2012年2月18日
	今井 章夫	2012年2月18日 ~ 2016年3月5日
	井上 英幸	2016年3月5日 ~

幹事長	高慶 繁博	1981年2月3日 ~ 1990年2月24日
	伊藤 八郎	1990年2月24日 ~ 2000年2月18日
	佐々木 俊英	2000年2月18日 ~ 2016年3月5日
	武田 伸也	2016年3月5日 ~

会計	小西 英也	1976年1月10日 ~ 1978年2月28日
	浅利 陽次郎	1978年2月28日 ~ 1979年2月26日
	高慶 繁博	1979年2月26日 ~ 1981年2月3日
	中村 堅次	1981年2月3日 ~ 1983年2月12日
	佐藤 秀雄	1983年2月12日 ~ 1990年2月24日
	土居 栄治	1990年2月24日 ~ 2024年3月2日
	五十嵐 克敏	2024年3月2日 ~

副幹事長	山口 知郎	1992年2月22日 ~ 2009年11月1日
	武田 伸也	2009年4月25日 ~ 2016年3月5日
	望月 秀則	2016年3月5日 ~

顧問	高慶 繁博	2000年2月19日 ~ 2011年12月2日
	佐藤 秀雄	2012年2月18日 ~ 2023年3月19日

幹事	浅利 陽次郎	1979年2月26日 ~
	北村 建興	1990年2月24日 ~
	遠藤 二夫	1992年2月22日 ~
	師岡 郁彦	1995年2月25日 ~
	尾本 眞二	1998年2月14日 ~
	高倉 博人	2008年5月17日 ~
	大川 聖一	2011年2月19日 ~
	関根 悟	2011年2月19日 ~
	大井 潤慈	2011年2月19日 ~
	榊原 達也	2013年3月2日 ~
	山口 康弘	2013年3月2日 ~
	井浜 利光	2019年3月2日 ~
	登立 太郎	2019年3月2日 ~
	松坂 敏之	2021年1月1日 ~
	今村 静男	2021年1月1日 ~
	熊谷 徹	2021年1月1日 ~
	佐藤 剛	2022年3月2日 ~
	安部 優雅	2024年3月2日 ~
	石井 博美	1976年1月10日 ~ 2021年1月1日
	中川 一昌	1990年2月24日 ~ 2008年5月17日
	佐々木 昭	1981年2月2日 ~ 1990年2月24日
	早坂 義人	1983年2月12日 ~ 2008年5月17日
	伊藤 八郎	1983年2月12日 ~ 1990年2月24日
	坂井 是樹	1990年2月24日 ~ 2000年2月19日
	住吉 宏志	1985年2月14日 ~ 1990年2月24日
	宮崎 義弘	1990年2月24日 ~ 2008年5月17日
	土居 栄治	1986年2月14日 ~ 1990年2月24日
	青木 昭弘	1988年2月13日 ~ 2021年1月1日
	正井 薫	1989年2月12日 ~ 2011年1月3日
	山口 知郎	1990年2月24日 ~ 1992年2月2日
	佐々木 俊英	1992年2月22日 ~ 2000年2月19日
	登立 和紀	1991年2月23日 ~ 2008年5月7日
	日根野 喜之	1993年2月20日 ~ 2008年5月7日
	上枝 敏八	1997年2月22日 ~ 2008年5月7日
	伊藤 八郎	2000年2月19日 ~ 2021年1月1日
	深見 浩	2000年2月19日 ~ 2008年4月5日
	山口 貴之	2005年2月19日 ~ 2011年2月19日
	近藤 摩人	2002年2月16日 ~ 2012年2月15日
	水田 信也	2004年2月21日 ~ 2008年5月17日
	五十嵐 克敏	2007年2月12日 ~ 2024年3月2日
	古川 昌俊	2008年2月17日 ~ 2018年4月4日
	彦坂 忠人	2011年2月19日 ~ 2018年4月4日
	柴田 英実	2011年2月19日 ~ 2018年4月4日
	高木 昌人	2012年2月18日 ~ 2013年3月2日

千歳青年会議所 OB 会 総会開催報告

	日程	会場	摘要
第1回	1976年1月10日	はな井	創立総会 20名
第2回	1977年4月12日	羊々亭	
第3回	1978年3月28日	はな井	
第4回	1979年2月26日	//	
第5回	1980年2月9日	うえはら	
第6回	1981年2月3日	花房	
第7回	1982年2月5日	はな井	
第8回	1983年2月12日	おくむら	
第9回	1984年2月7日	千両寿司	千歳JC20周年 100万円助成
第10回	1985年2月4日	//	
第11回	1986年2月14日	登別第一滝本館	
第12回	1987年2月14日	登別万世閣	
第13回	1988年2月13日	登別第一滝本館	
第14回	1989年2月12日	登別滝乃家	千歳JC地区大会 100万円助成
第15回	1990年2月24日	登別グランドホテル	
第16回	1991年2月23日	支笏湖丸駒温泉旅館	
第17回	1992年2月22日	登別グランドホテル	
第18回	1993年2月20日	支笏湖観光ホテル	
第19回	1994年2月26日	//	千歳JC30周年 100万円助成
第20回	1995年2月25日	支笏湖丸駒温泉旅館	
第21回	1996年2月17日	ホテル日航千歳	OB会創立20周年記念祝賀会、阪神淡路大震災 100万円義援金
第22回	1997年2月22日	支笏湖観光ホテル	
第23回	1998年2月14日	//	
第24回	1999年2月13日	//	
第25回	2000年2月19日	支笏湖丸駒温泉旅館	

	日程	会場	摘要
第26回	2001年2月17日	ホテル日航千歳	OB会創立25周年記念祝賀会
第27回	2002年2月16日	支笏湖観光ホテル	
第28回	2003年2月22日	支笏湖丸駒温泉旅館	
第29回	2004年2月21日	支笏湖観光ホテル	千歳JC40周年 100万円助成
第30回	2005年2月19日	支笏湖丸駒温泉旅館	
第31回	2006年2月18日	千歳全日空ホテル	OB会創立30周年記念祝賀会
第32回	2007年5月12日	支笏湖観光ホテル	
第33回	2008年5月17日	支笏湖丸駒温泉旅館	千歳JC地区大会 100万円助成
第34回	2009年4月25日	西洋軒	
第35回	2010年2月20日	支笏湖丸駒温泉旅館	
第36回	2011年2月19日	//	OB会創立35周年記念祝賀会、東日本大震災 50万円義援金、千歳JCにJC会館建設積立金を譲渡
第37回	2012年2月18日	//	
第38回	2013年3月2日	//	
第39回	2014年3月1日	//	
第40回	2015年3月5日	//	
第41回	2016年3月5日	ホテルグランテラス千歳	OB会創立40周年記念祝賀会
第42回	2017年3月4日	支笏湖丸駒温泉旅館	
第43回	2018年3月10日	//	
第44回	2019年3月2日	//	
第45回	2020年		※新型コロナウイルス感染症のため中止
第46回	2021年		※新型コロナウイルス感染症のため中止
第47回	2022年9月10日	ホテルグランテラス千歳	千歳JC地区大会 100万円助成 OB会創立45周年記念祝賀会
第48回	2023年3月4日	//	
第49回	2024年3月2日	//	千歳JC60周年 100万円助成

一般社団法人千歳青年会議所 正会員紹介

齊藤 創
2018年入会
有限会社さいとうグループ

富樫 昭大
2016年入会
富樫電気工事株式会社

吉田 さやか
2021年入会
瀧建設興業株式会社

米田 大樹
2021年入会
株式会社 Achievement

鈴木 丈弘
2021年入会
株式会社鈴木ガラス店

大久保 景右
2019年入会
株式会社 DREAM

生杉 隆礼
2018年入会
株式会社イクスギ

瀧 雄一
2012年入会
瀧建設興業株式会社

高橋 孔明
2019年入会
さくら安全企画株式会社

島本 弓樹文
2021年入会
es unit

林 征希
2018年入会
オールトーンズカフェ株式会社

伊藤 洋平
2021年入会
株式会社日建企画

土門 哲也
2018年入会
瀧建設興業株式会社

吉田 裕基
2023年入会
株式会社マリアージュインベルコ千歳支社

南坂 康太
2023年入会
有限会社みなみさか

生杉 太樹
2024年入会
有限会社マルイケ生杉共電

稲田 拓也
2024年入会
稲田農場

仲井 寿樹
2023年入会
株式会社北海道佐藤海苔

中嶋 龍一郎
2023年入会
空知信用金庫 千歳法人オフィス

牧 桃太郎
2023年入会
有限会社マキ企画

山根 勇人
2022年入会
Ys 株式会社

阿部 亜子沙
2023年入会
RizuNail

石黒 菜摘
2023年入会
第一生命保険株式会社

稲葉 セドリック
2021年入会
BAR&DARTS BRUNO

金山 佳央梨
2023年入会
pear design

高岡 暁
2023年入会
日本生命保険相互会社

竹原 涼太
2024年入会
有限会社なごみ地所

中村 泰征
2023年入会
健心道

南雲 州太郎
2023年入会
株式会社アイワ不動産

野村 祐也
2021年入会
有限会社野村共販

藤田 哲哉
2023年入会
Wine Bar Vizz

安田 空源
2021年入会
宗教法人光明寺

成田 芽生
2021年入会
Studio lit

高木 克祉
2021年入会
Aoraki Studio

平澤 美穂
2023年入会
spice

五十嵐 智也
2023年入会
有限会社イガラス

越前谷 翼
2024年入会
株式会社ゆめのあかり

菅原 桃代
2024年入会
明治安田生命保険相互会社

武石 翔太
2020年入会
シャムロック CC

中田 愛
2013年入会
Love actually

南雲 英利
2023年入会
山二総合保全株式会社

服部 良太
2023年入会
有限会社服部設計

吉本 考臣
2021年入会
株式会社吉本 吉本考臣建築設計事務所

井上 慎也
2023年入会
株式会社いのうえ

今 裕太郎
2023年入会
今不動産株式会社

吉岡 毅
2010年入会
株式会社ツヨシオカ

稲葉 フランチェスカ
2023年入会
BAR ELIXIR

今井 涼
2015年入会
株式会社ゆうしんかん

門脇 拓哉
2023年入会

土居 潤哉
2021年入会
ノースライン株式会社

長谷 康礼
2024年入会
株式会社 minorhythm

疋田 之彦
2023年入会

廣川 匠
2020年入会
株式会社恵千フーズ

(2024年4月1日現在)



2024年度
組織図はこちら

一般社団法人千歳青年会議所概況 (2024年4月1日現在)

創 立 年 月 日	1964年5月10日
日 本 J C 登 録 番 号	No.272
ス ポ ン サ ー J C	苫小牧青年会議所
社 団 法 人 設 立 年 月 日	1985年2月13日
一 般 社 団 法 人 移 行 年 月 日	2013年1月4日
会 員 数	正会員 53名 名誉会員 7名 特別会員 160名
事 務 局	〒066-0042 千歳市東雲町3丁目2番地の6 (千歳商工センター内) TEL & FAX 050-3588-2436
ホ ー ム ペ ー ジ ア ド レ ス	https://chitose-jc.com/
メ ー ル ア ド レ ス	mail@chitose-jc.com
例 会 場	千歳商工センター 大会議室 千歳市東雲町3丁目2番地の6 電話 (0123) 23-2175
会 費	入会費 20,000円 年会費 正会員 100,000円 賛助会員 30,000円



千導